

**船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会
第13回会議
交通円滑化・交通安全対策部会検討結果
(交通安全対策)**

令和6年（2024年）12月

船橋市

No	項目
1	メンバーと部会の実施結果
2	交通安全対策箇所の選定結果
3	宮本地区の検討結果
4	飯山満町南地区の検討結果

1. メンバーと部会の実施結果

部会メンバー

道路安全診断（第三者による検討）を実施

委員

学識経験者

国土交通省
千葉国道事務所 計画課
千葉国道事務所 交通対策課

千葉県
県土整備部 道路計画課
葛南土木事務所 道路建設課
葛南土木事務所 維持課
警察本部 交通規制課（規制担当）
警察本部 交通規制課（信号担当）
船橋警察署 交通課
船橋東警察署 交通課

船橋市
道路部 道路建設課



道路安全診断

学識経験者・道路安全専門家・
交通工学専門家 2名

道路設計技術者※) 1名

※) 交通工学研究会認定（TOE・TOP取得）あるいは同等の資格保有者

部会の開催状況

検討エリア：2エリア（宮本地区・飯山満町南地区）

第1回

【現地視察：10/2】

■ 現地視察（2エリア：宮本地区・飯山満町南地区）

【現地視察】



第2回

【室内会議：10/23】

■ 対策コンセプト・メニューの立案
■ 対策を具体化する際の留意点

【室内会議】



第3回

【書面：12/16】

■ 対策内容の承認

【室内会議】



2. 交通安全対策エリアの選定

(1) 交通安全対策エリアの選定方法

【対策エリアの選定方法】

STEP①：選定指標の設定・加点

場所把握の容易さやデータ整備状況を踏まえて、町丁目単位として評価する。

【評価指標】

①人口

- ・総人口：上位30位内 [1点]
- ・人口密度：上位30位内 [1点]
市平均の2倍以上 [1点]
- ・子供の割合：市平均以上 [1点]
- ・高齢化率：市平均以上 [1点]

②死傷事故（人身事故）

- ・全道路での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・全道路での事故率：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]
市平均の500倍以上 [1点]
- ・市道事故の割合：市平均以上 [1点]

③急減速挙動（ETC2.0データ前後加速度-0.3G以下）

- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]

④対策要望

- ・ゾーン30、ゾーン30プラス指定エリア：未対策[3点]
(予定エリアも含む)
- ・地域・警察要望：5件以上[5点]、2件以上[3点]
1件[1点]

STEP②：対策優先度検討

評価指標①～④の各得点による総合評価での優先順位を検討し、上位に位置付けられたエリアを対策候補エリアとして選定

STEP③：既存整備状況・計画等の確認

対策整備済あるいは計画策定済エリア等は除外

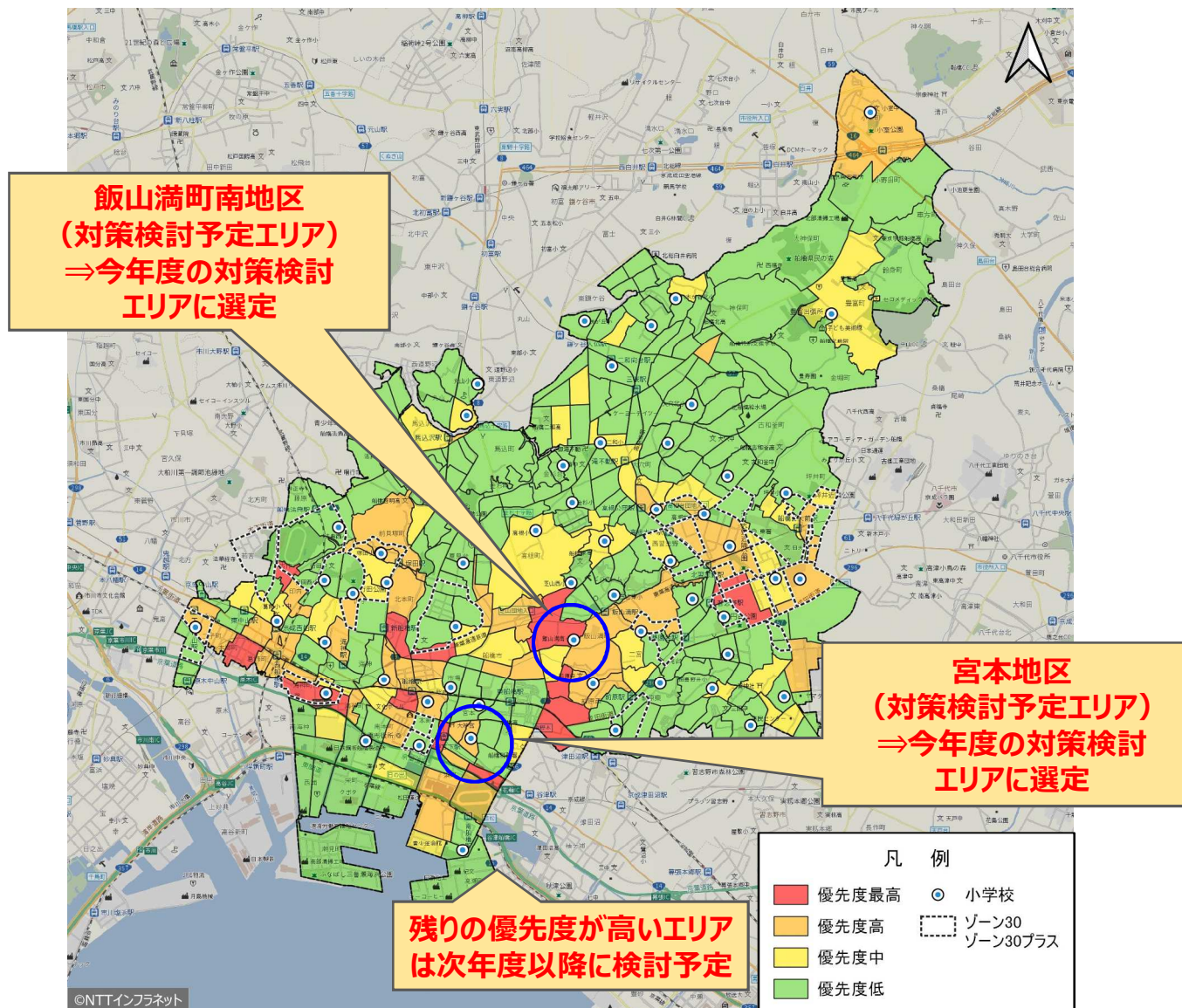
STEP④：対策エリア決定＆近隣エリア統合

隣接エリアの状況に応じてエリア統合して箇所を選定

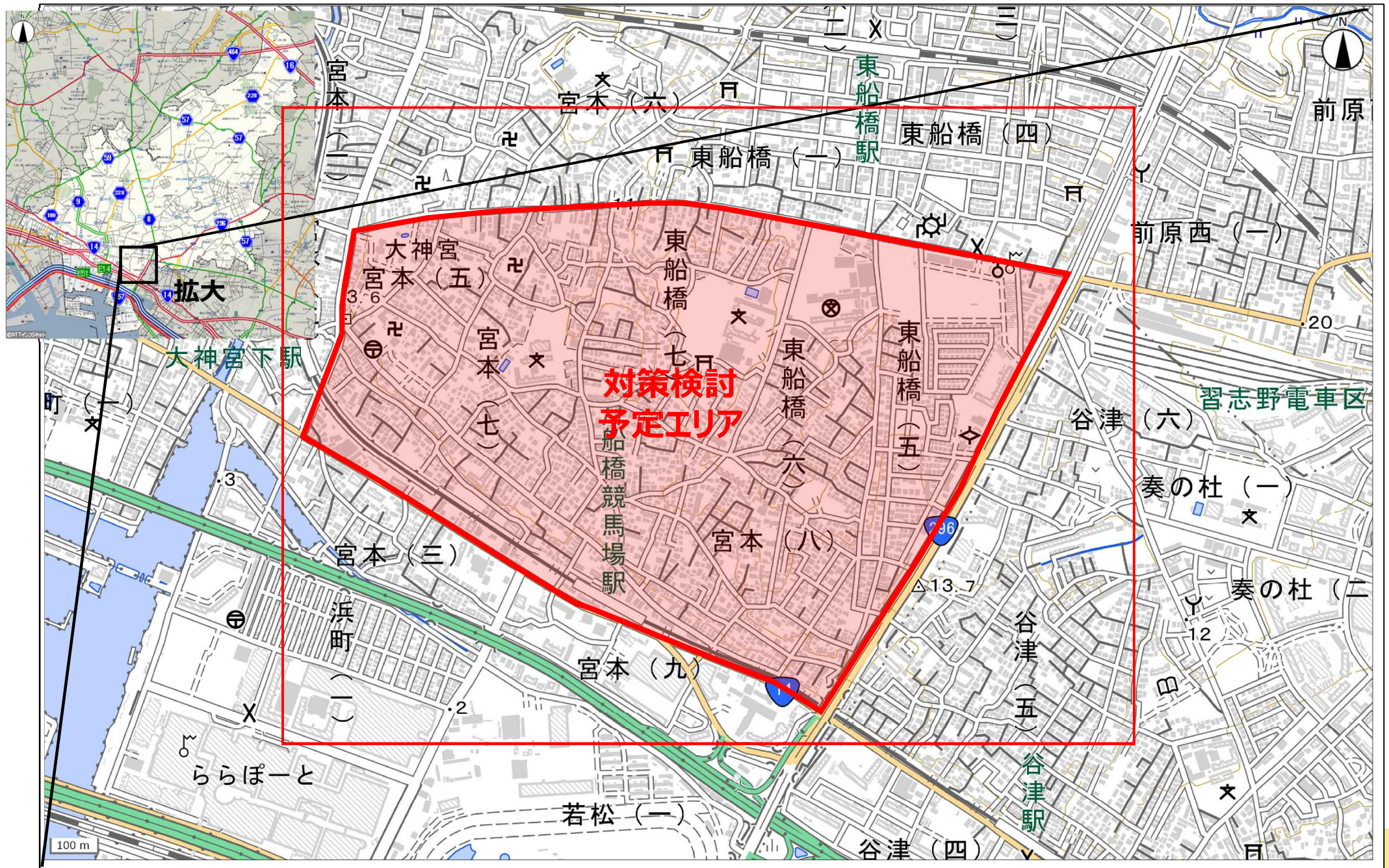
2. 交通安全対策エリアの選定

(2) 交通安全対策エリアの選定結果

【対策エリアの選定結果】

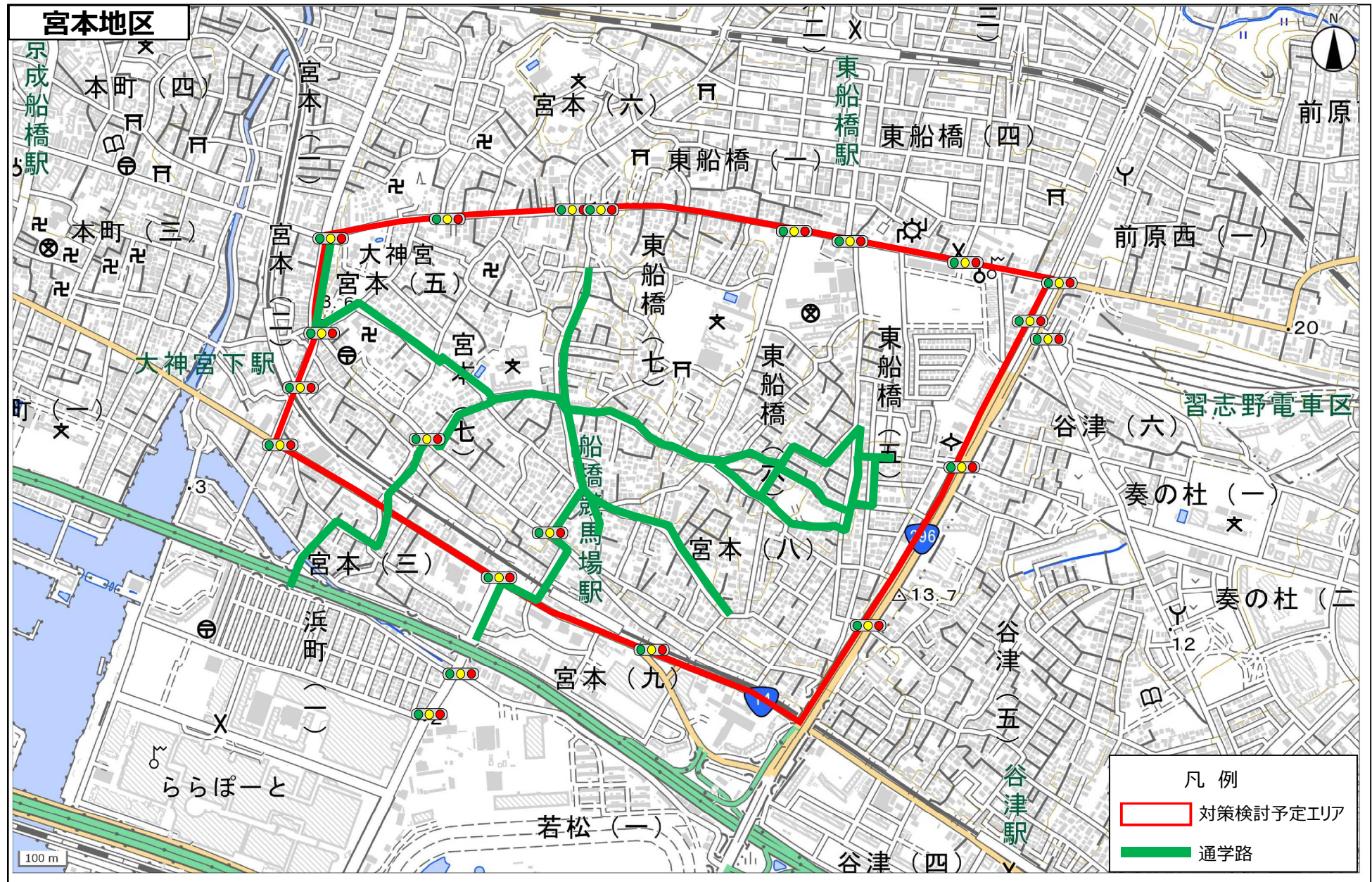


3. 宮本地区の検討結果 (1) 位置図



3. 宮本地区の検討結果 (2) 通学路の指定状況

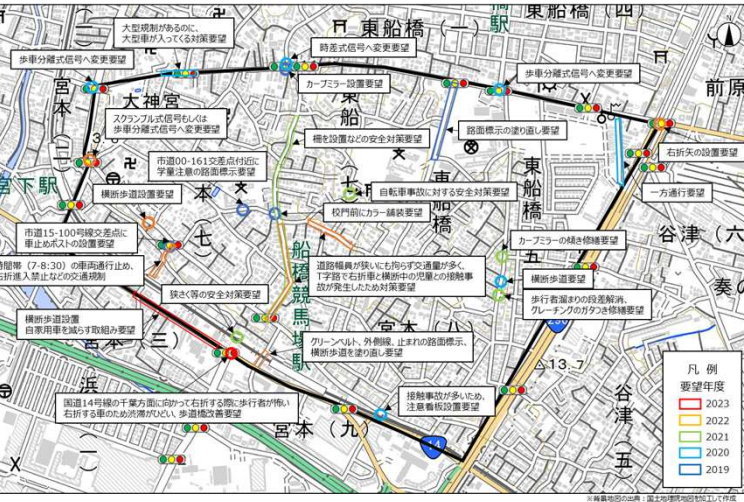
- 宮本地区は住宅地であり、エリア内には小学校が立地し、学校指定の通学路がある。



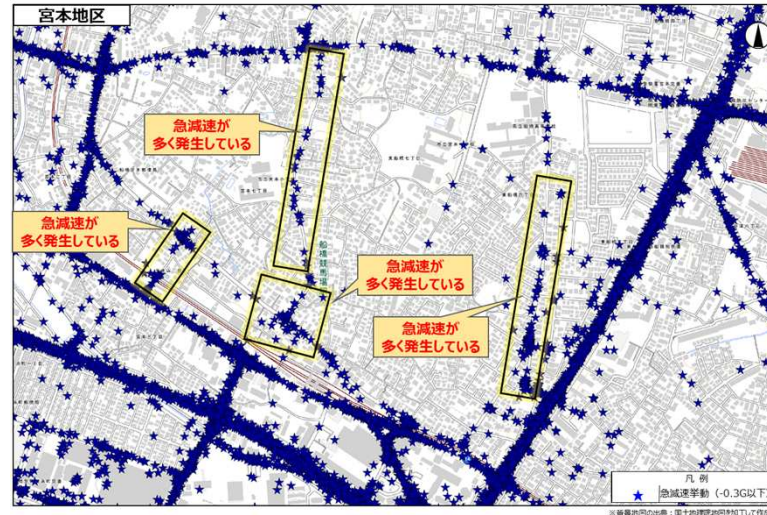
3. 宮本地区の検討結果 (3) エリア全体の現状把握

● 事故・ETC2.0プローブ・地元要望等からエリア内の現状把握を実施⇒エリア内の危険箇所・区間の把握。

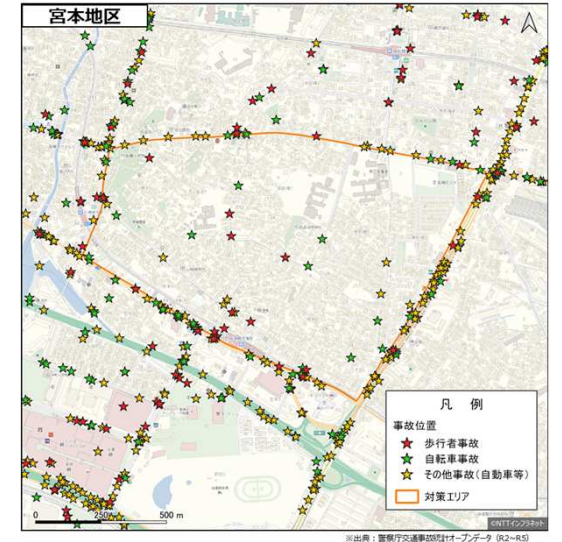
● 地域要望



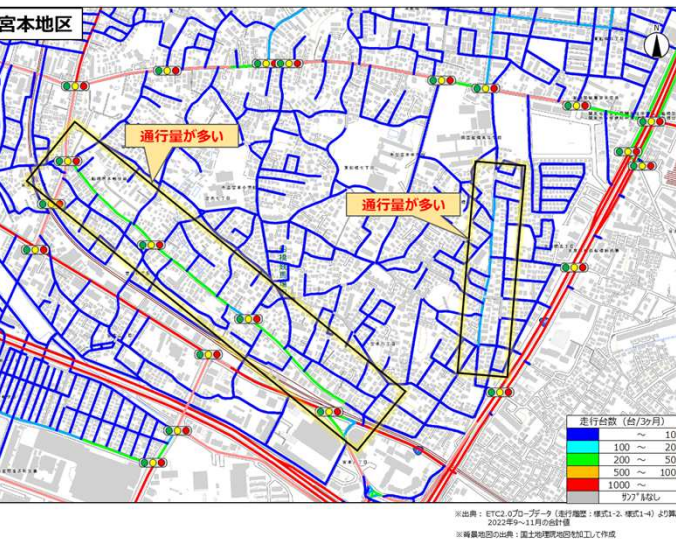
● 急減速発生状況



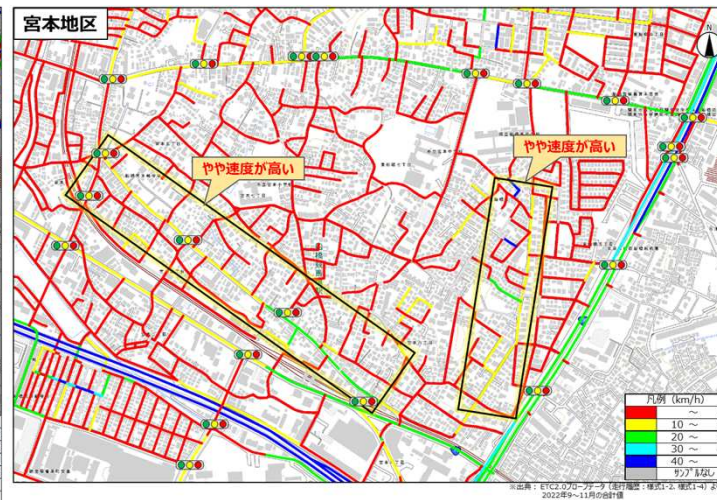
● 事故発生状況



● 走行台数



● 平均走行速度



● 30k/h以上の走行車両の割合



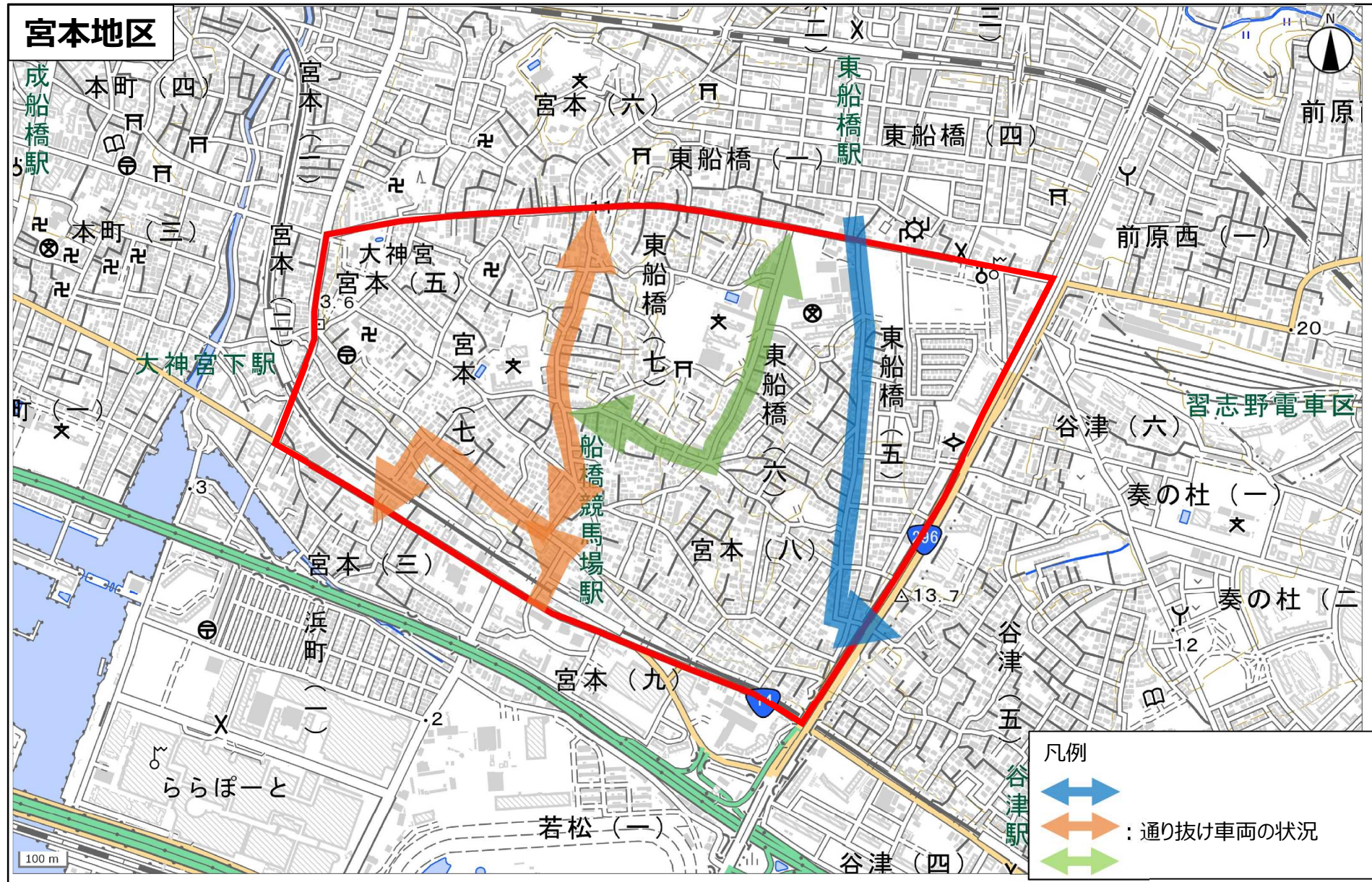
3. 宮本地区の検討結果 (4) 対策の実施状況

- 小・中学校周辺には交差点カラー舗装等の対策が実施されている。

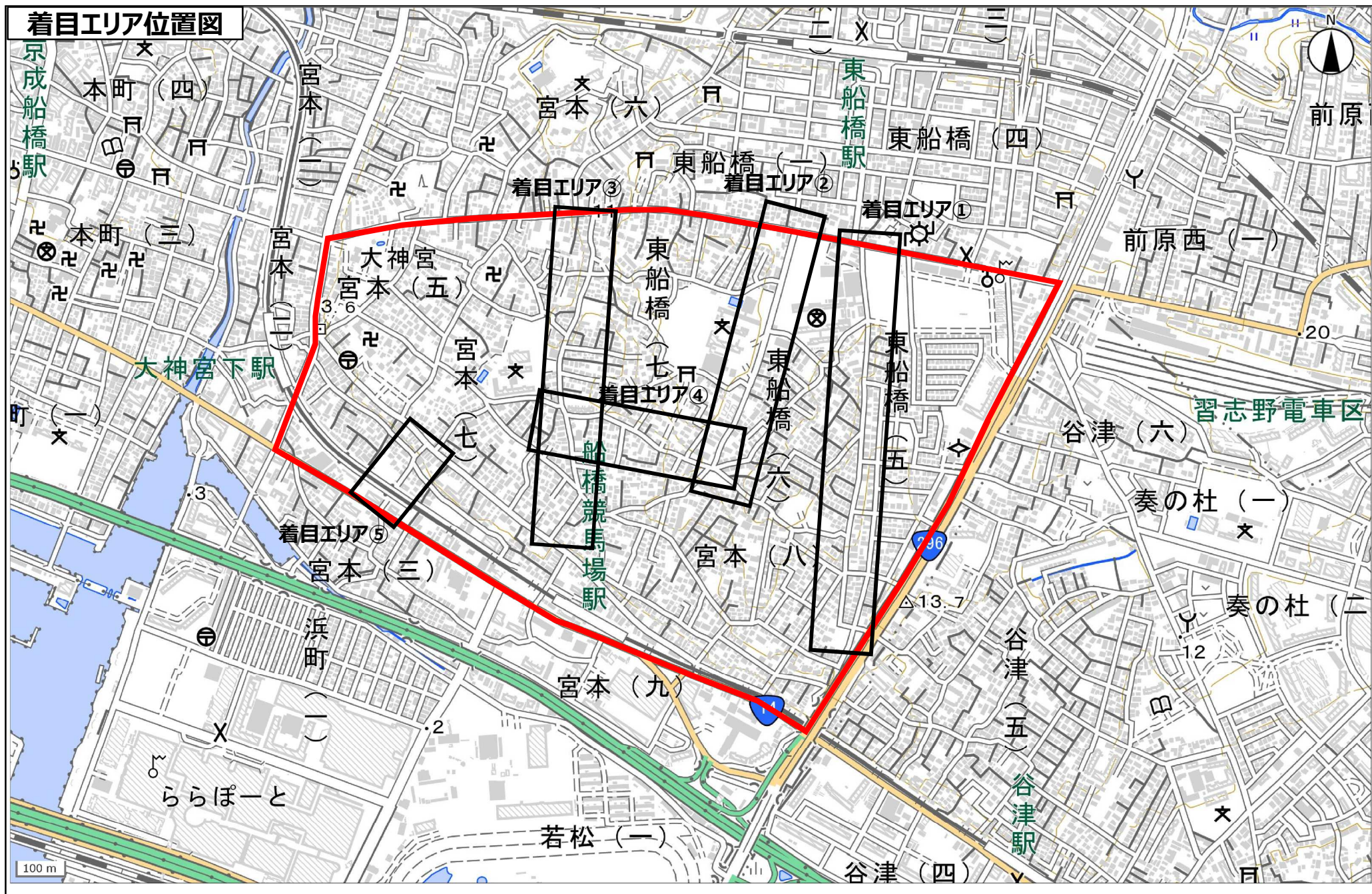


3. 宮本地区の検討結果 (5) 通り抜けの状況

- 外周道路の渋滞を避けるためエリア内を通り抜けする車両が多く存在する。



3. 宮本地区の検討結果 (6) 着目エリア



3. 宮本地区の検討結果

(7) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該エリアの課題

- 外周道路としての役割を担う**国道14号及び国道296号、県道8号（船橋我孫子線）**において、**常時激しい渋滞が発生**。その渋滞を避けるために、**エリア内を抜け道利用している車が多く**、事故や急減速が多発。
- エリア内には**小学校があり**、自転車歩行者の利用も多く、交通安全に対するニーズが強いため、**対策要望が多く寄せられている**。
- 小学校の登下校時には通学路上の危険箇所において、**地域ボランティアによるスクールガードが立哨している**など、**地域住民が交通安全に対して協力的な地域**である。

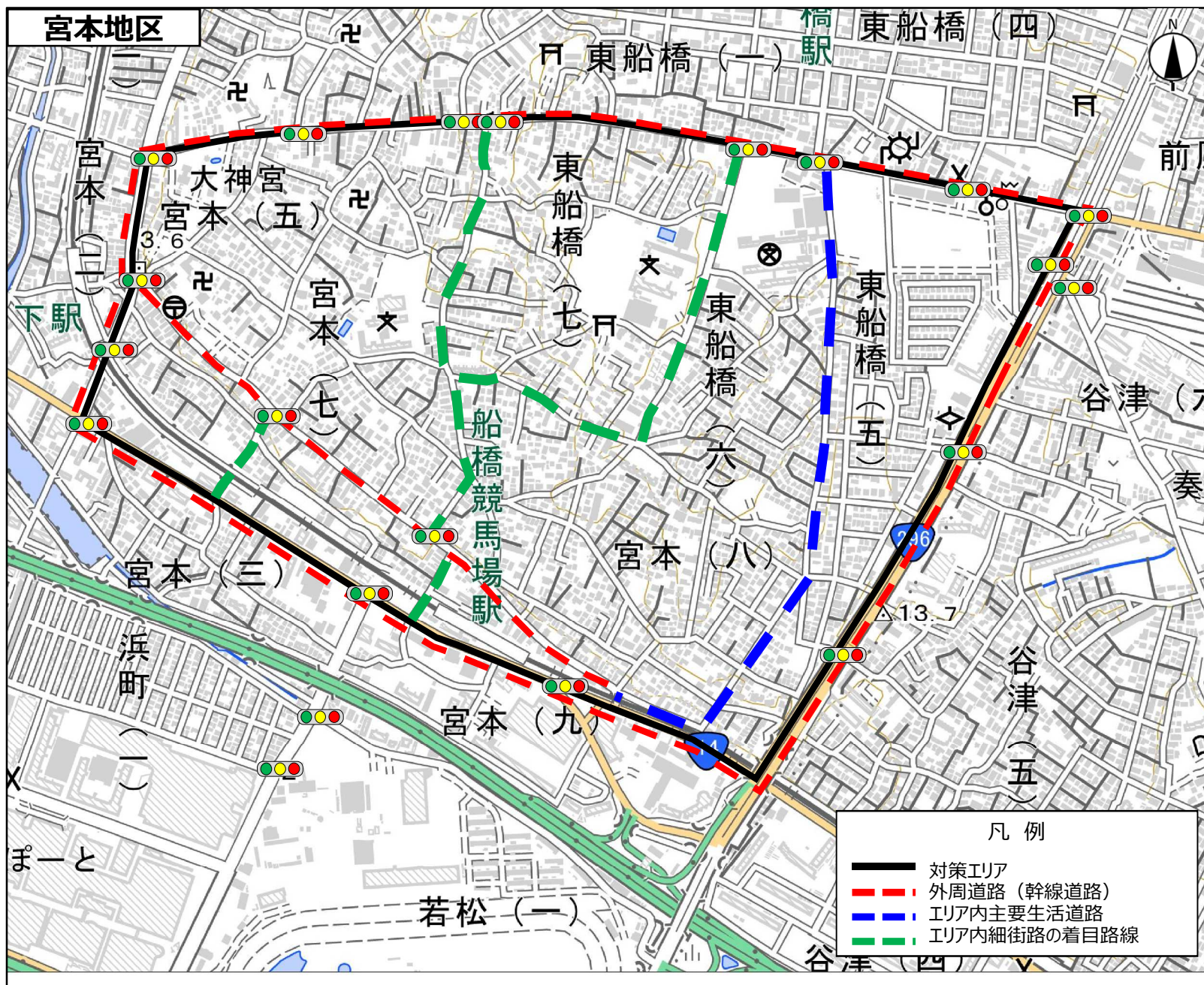


対応方針

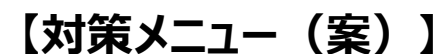
- | | |
|--|---|
| ① 外周道路（幹線道路）
<small>※通過交通を通行させるための地域の主要骨格道路</small> | ：速度低下区間における渋滞対策の推進。 |
| ② エリア内の主要生活道路（補助幹線道路）
<small>※エリア内の住民が外周道路（幹線道路）にアクセスするための骨格道路</small> | ：抜け道利用の多い区間を対象とした
速度抑止や注意喚起 に向けた対策の推進。 |
| ③ エリア内の細街路（区画街路）
<small>※沿道住民の利用する道路（通過交通抑制道路）自転車歩行者を優先させる道路</small> | ：抜け道利用の多い区間を対象とした エリア内の進入抑制
や 速度抑止や注意喚起 に向けた対策の推進。 |

分類	主な対策メニュー（案）
外周道路 （幹線道路）	■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進（新規事業化に向けた検討あるいは要望の継続）
エリア内の主要生活道路 （補助幹線道路）	■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等） ■ 地域住民との連携の継続（スクールガードの継続 等）
エリア内の細街路 （区画街路）	■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等）

3. 宮本地区の検討結果 (8) 対策のコンセプト



船橋市
Funabashi City



分類	対策内容（案）
外周道路 （幹線道路）	■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進
エリア内 主要生活道路 （補助幹線道路）	■ 物理的デバイス（入口狭さく等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等）
エリア内の その他の生活道路 （区画街路）	■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等） ■ 地域住民との連携（スクールガードの継続 等）
エリア進入部	■ 「ゾーン30プラス」の路面標示と標識の設置

- 本日の意見を踏まえて対策メニューの見直し
- ↓
- 対策の具体化に向けた検討
⇒ 現地状況を踏まえた対策設計・関係機関との調整
- ↓
- 地域との合意形成（住民説明会など）
⇒ 合意形成の図られた対策を実施

3. 宮本地区の検討結果 (10) 着目エリア①の現地状況

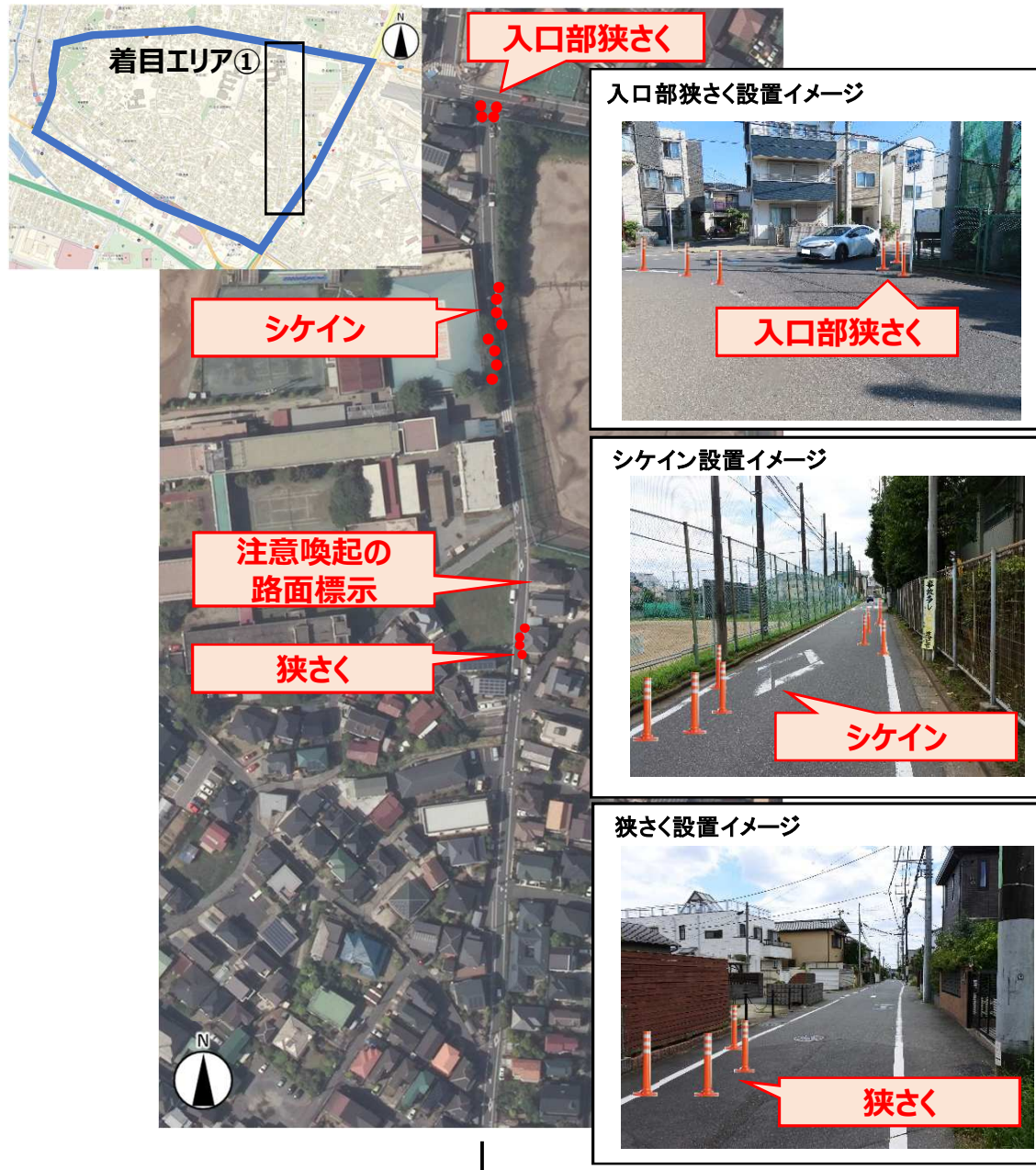


3. 宮本地区の検討結果

(11) 着目エリア①の対策方針・対策案

- 【着目エリア①（エリア内の主要生活道路）】走行車両の速度抑制及び注意喚起

短期対策



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
 ※入口部の狭さくの幅員については、二輪車を除く一方通行であるため滞留を考慮して設置
 参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」

3. 宮本地区の検討結果

(12) 着目エリア②の現地状況



抜け道利用の多い区間であるが、一部区間では歩道未設置の細街路区間となっている



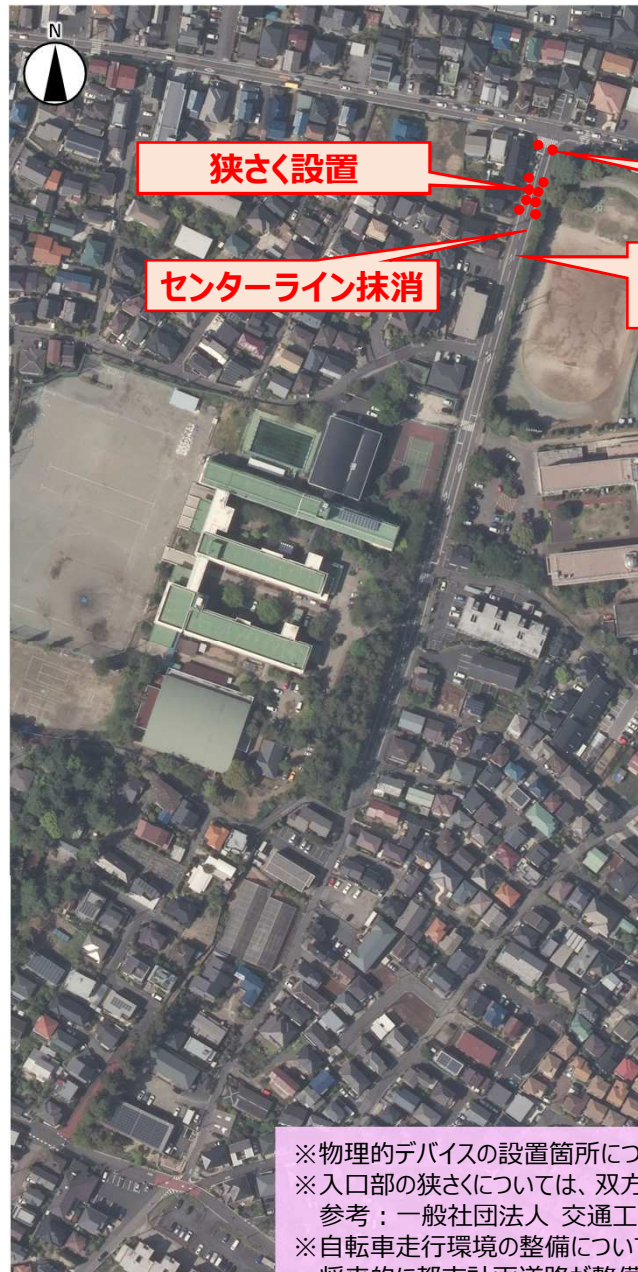
3. 宮本地区の検討結果

(13) 着目エリア②の対策方針・対策案

- 【着目エリア②（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



狭さく設置イメージ



短期対策

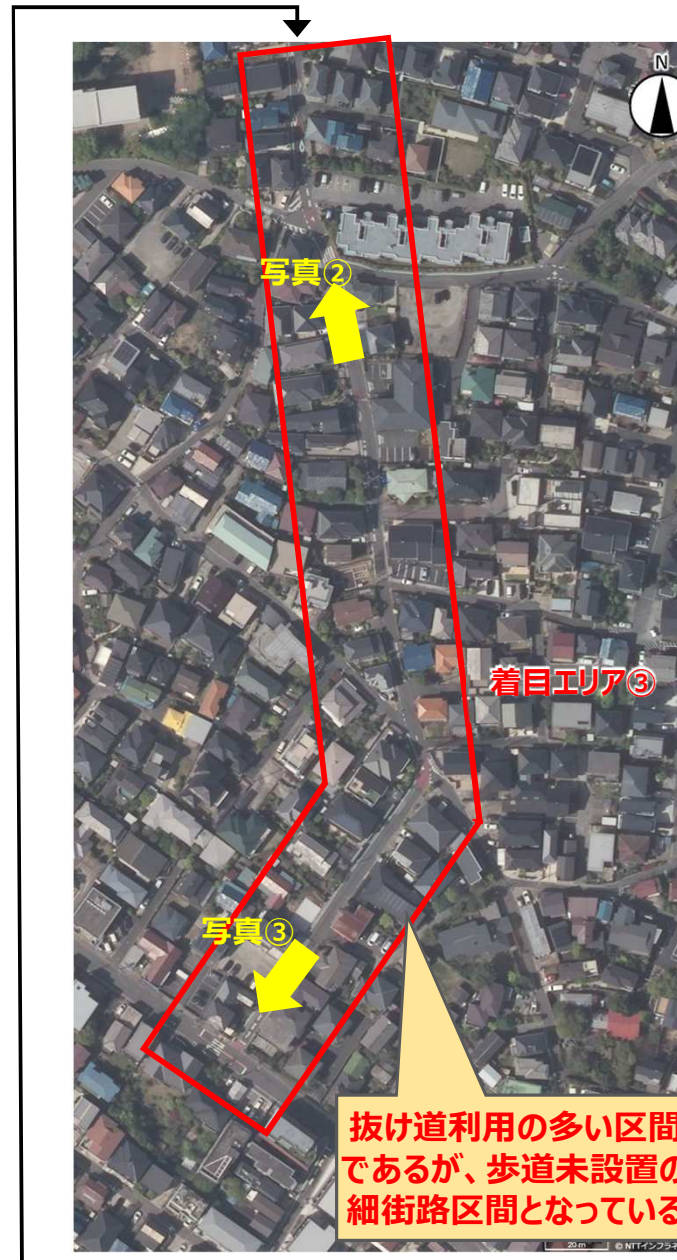
外側線狭め、ラバーポール設置イメージ



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
 ※入口部の狭さくについては、双方向通行の道路であるため、交差点から10～30m離して設置
 参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」
 ※自転車走行環境の整備については、暫定整備として車道混在型の矢羽根を外側線の外側へ設置
 将来的に都市計画道路が整備された際には、自転車専用通行帯としての再整備を検討

3. 宮本地区の検討結果

(14) 着目エリア③の現地状況



3. 宮本地区の検討結果

(15) 着目エリア③の対策方針・対策案

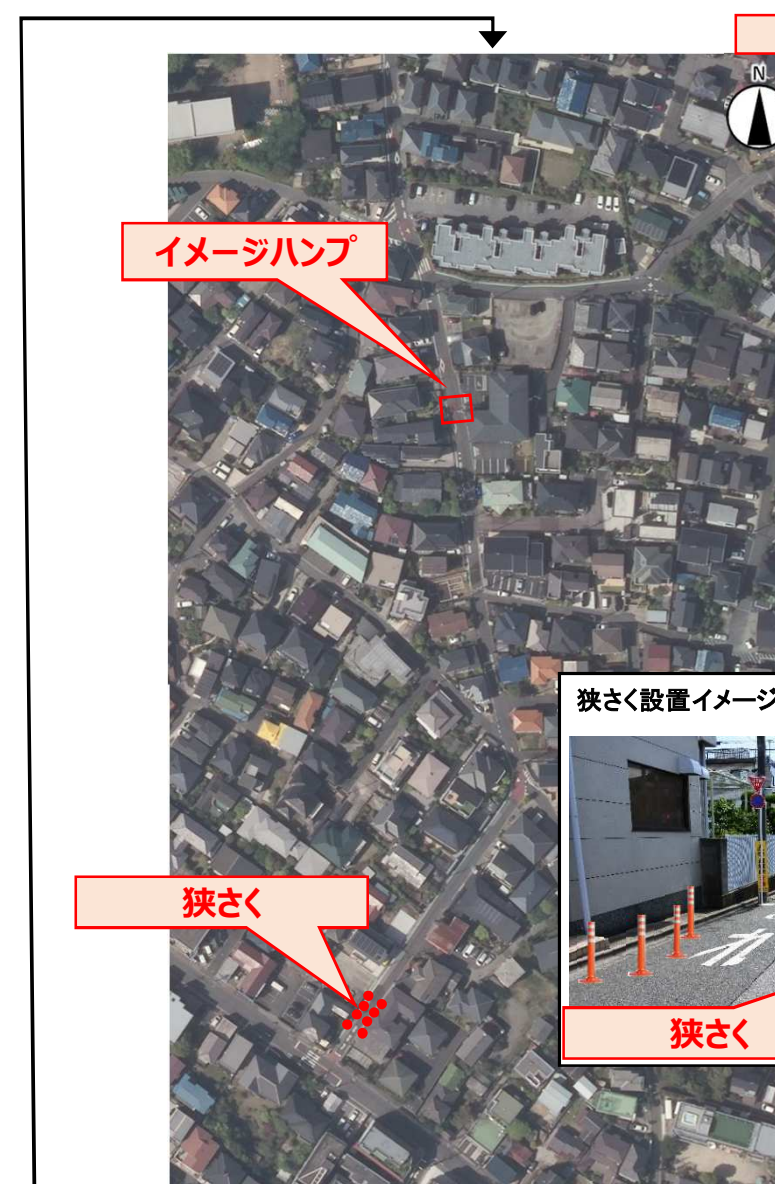
- 【着目エリア③（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



狭さく設置イメージ



狭さく



イメージハンプ

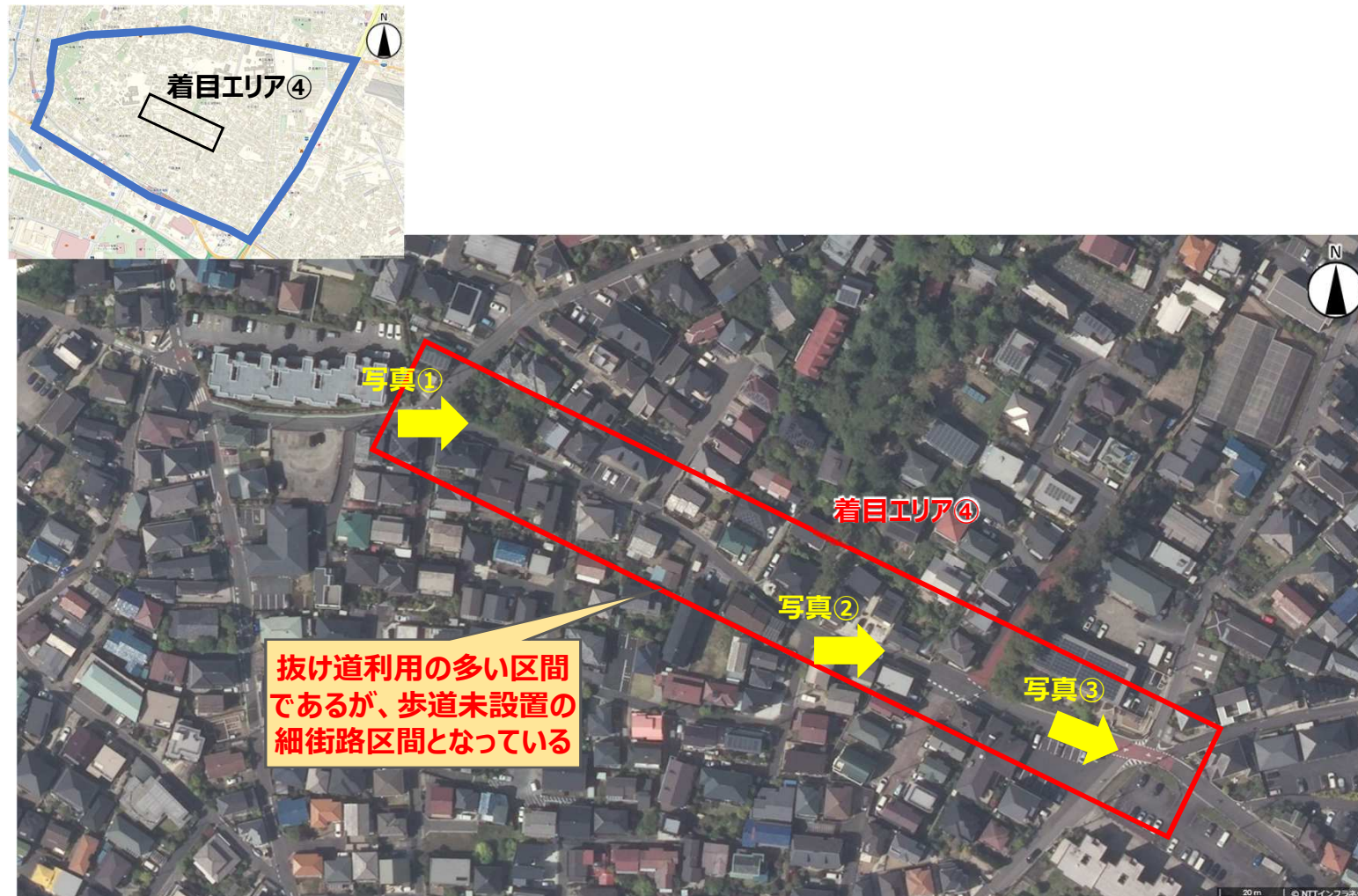
狭さく設置イメージ



狭さく

※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
 ※入口部の狭さくについては、双方向通行の道路であるため、交差点から10～30m離して設置
 参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」

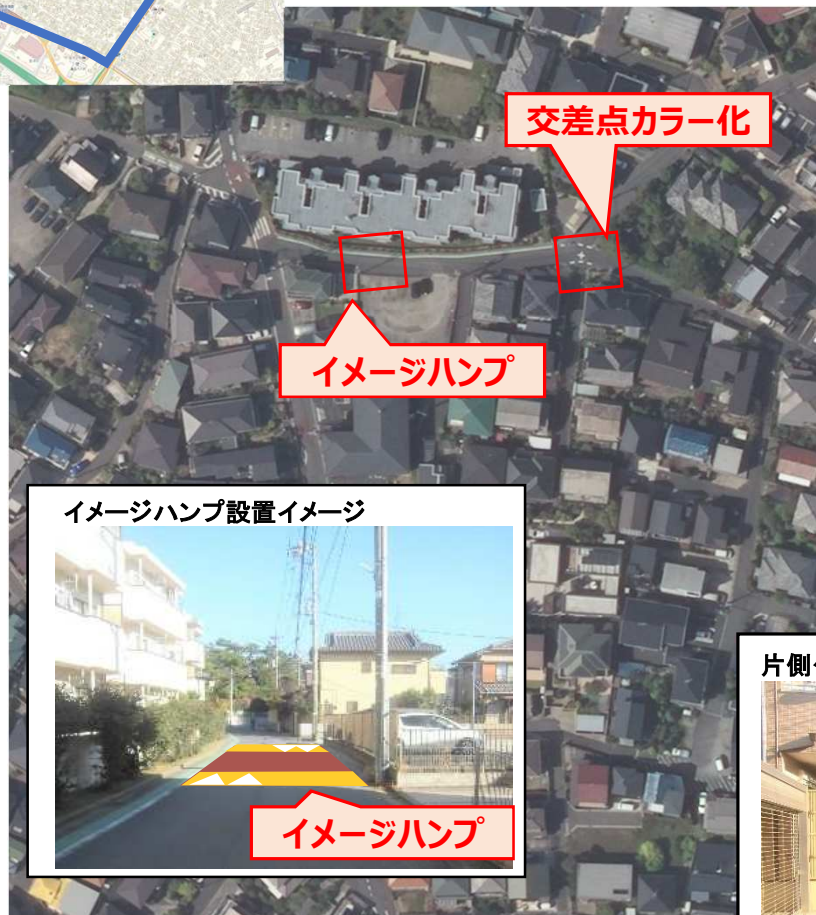
3. 宮本地区の検討結果 (16) 着目エリア④の現地状況



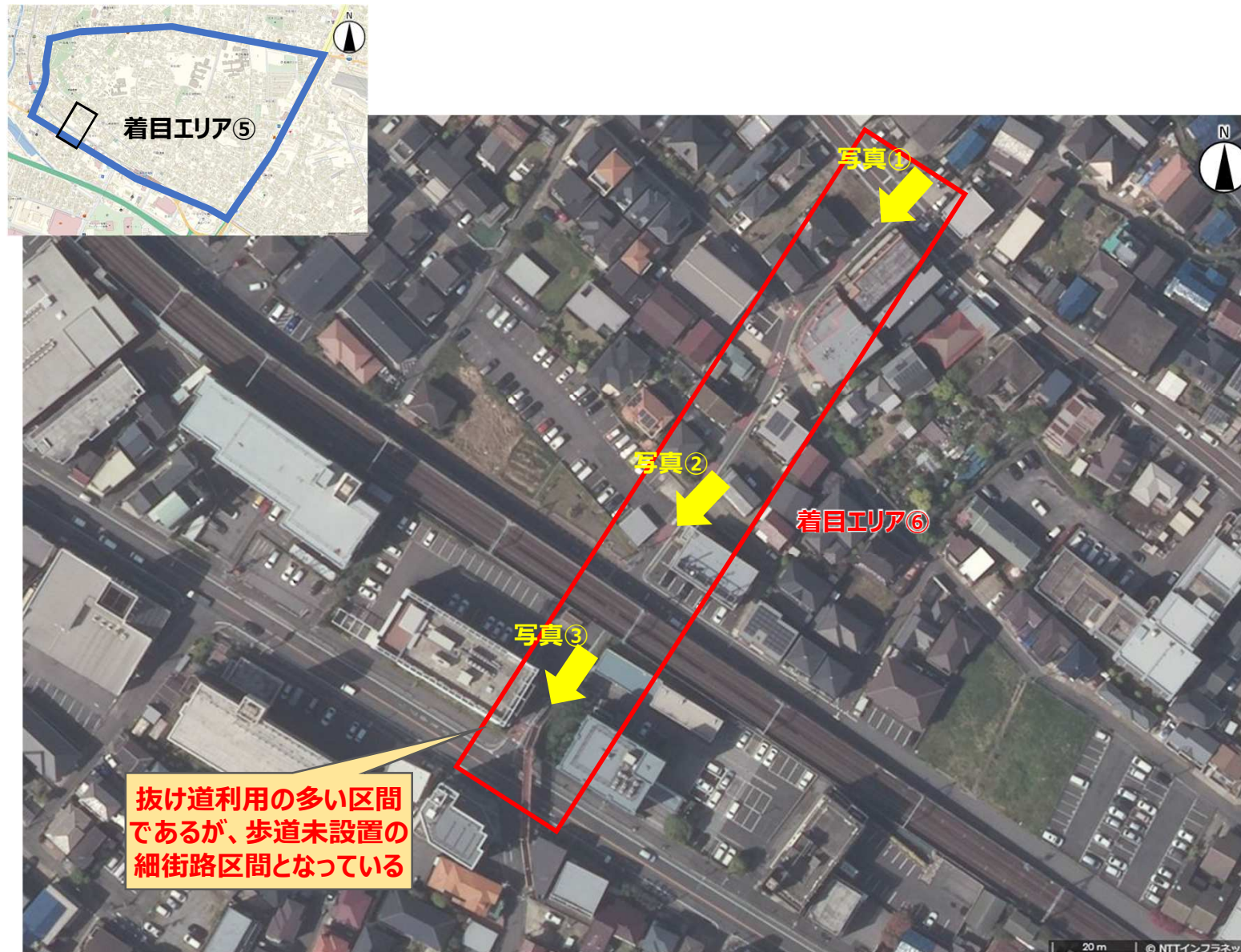
3. 宮本地区の検討結果 (17) 着目エリア④の対策方針・対策案

- 【着目エリア④（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起

: 短期対策



3. 宮本地区の検討結果 (20) 着目エリア⑤の現地状況



3. 宮本地区の検討結果

(2 1) 着目エリア⑤の対策方針・対策案

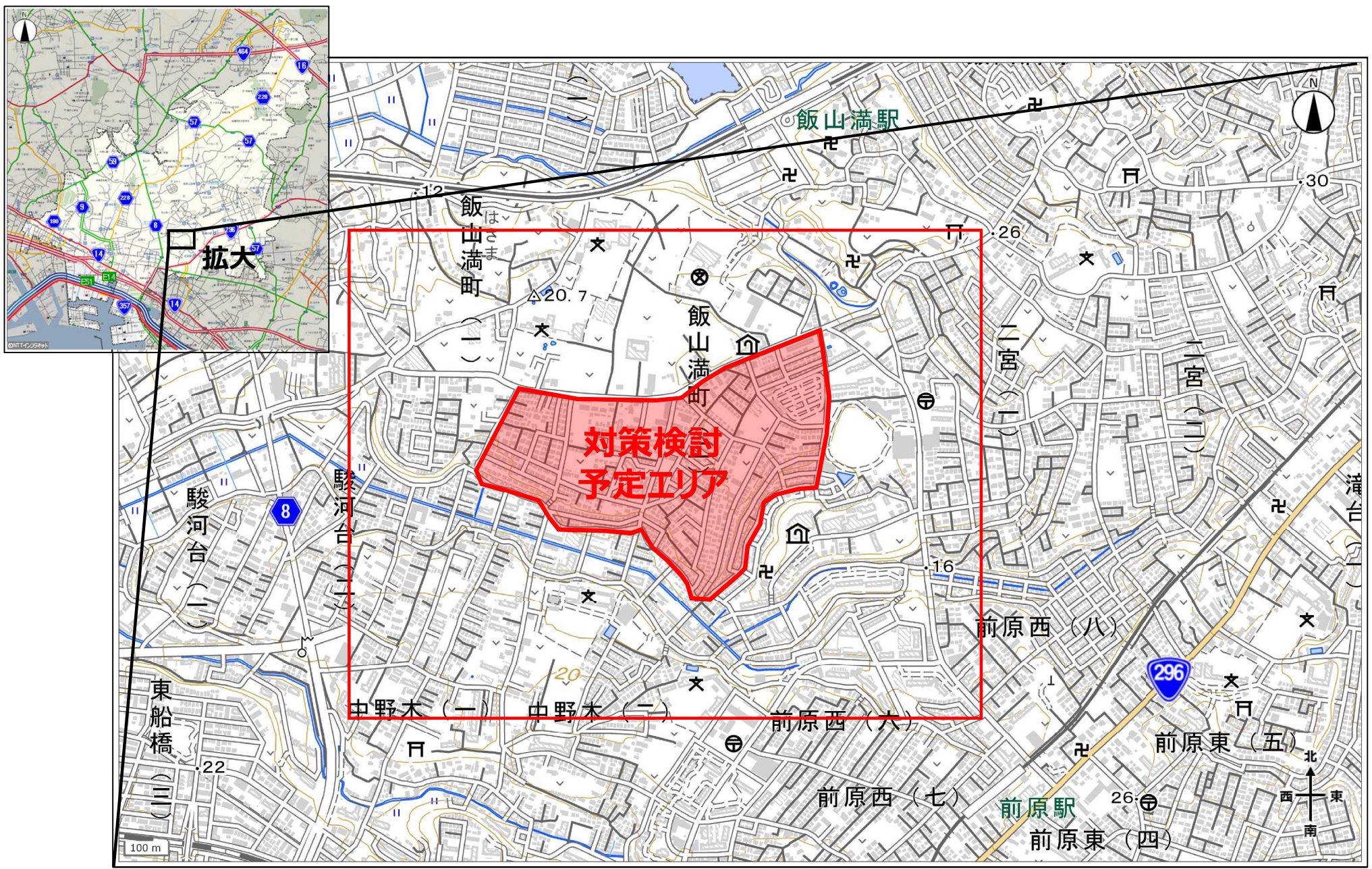
- 【着目エリア⑤（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起

: 短期対策



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
 ※入口部の狭さくの幅員については、二輪車を除く一方通行であるため滞留を考慮して設置
 参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」

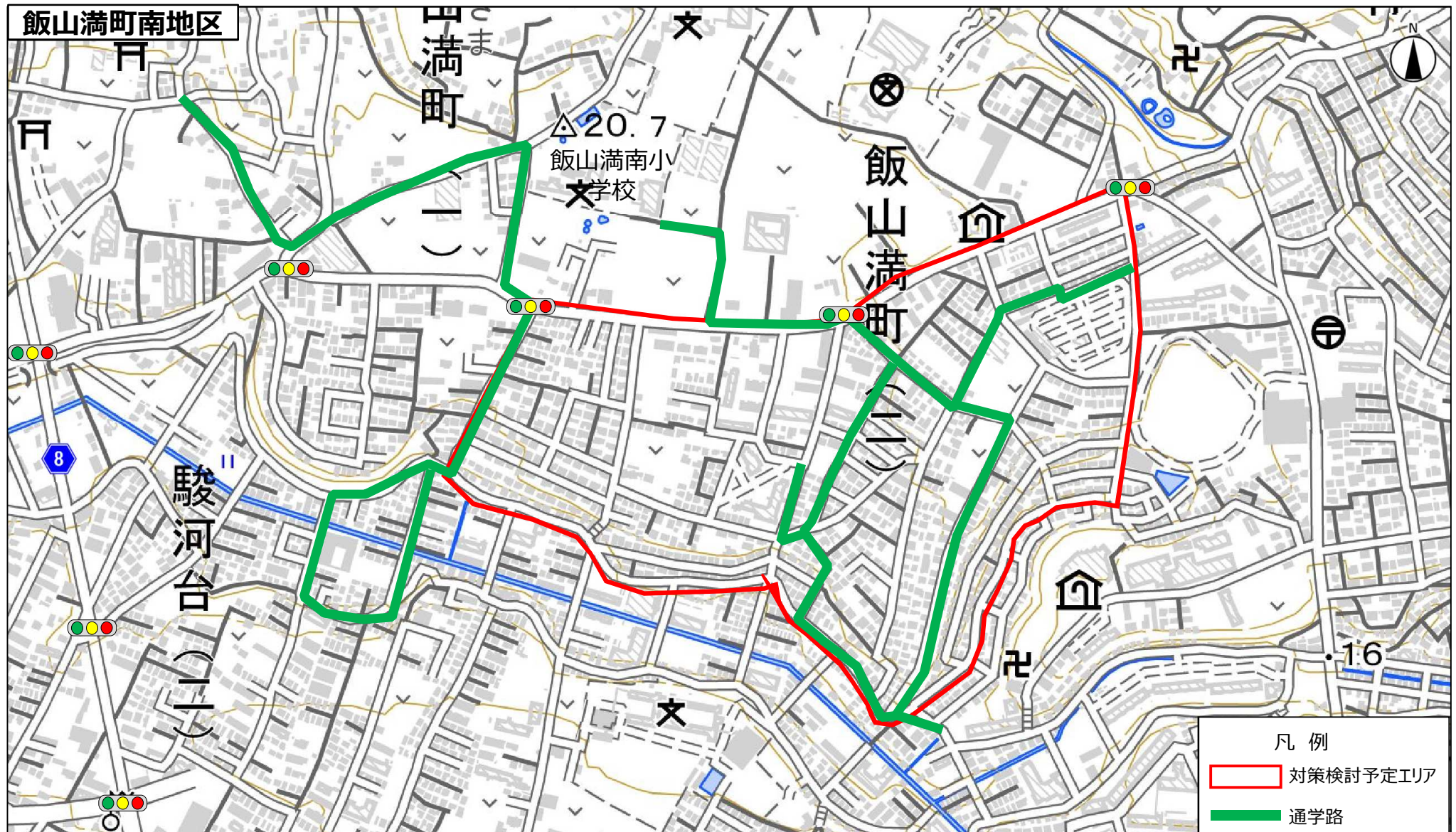
4. 飯山満町南地区の検討結果 (1) 位置図



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 飯山満町南地区の検討結果 (2) 通学路の指定状況

- 飯山満南地区は住宅地であり、エリア周辺には小学校が立地し、学校指定の通学路がある。

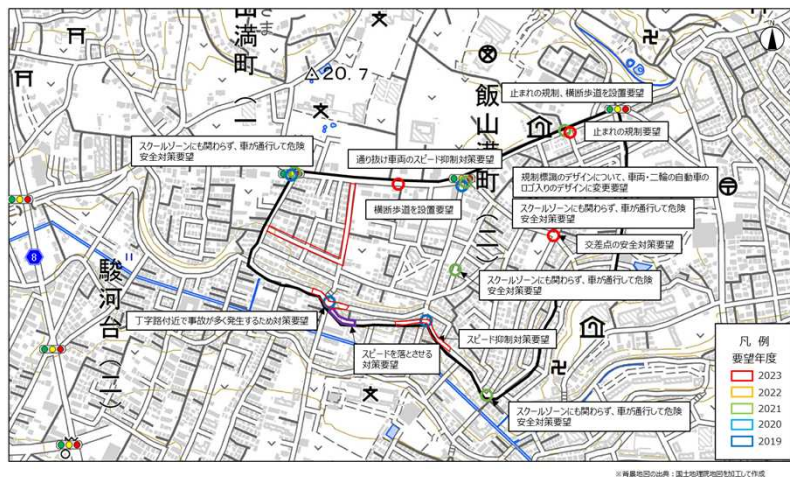


※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

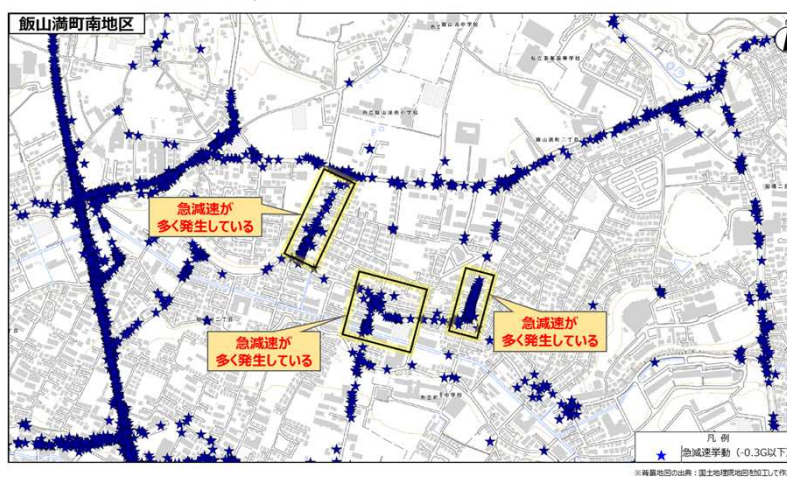
4. 飯山満町南地区の検討結果 (3) エリア全体の現状把握

● 事故・ETC2.0プローブ・地元要望等からエリア内の現状把握を実施⇒エリア内の危険箇所・区間の把握。

● 地域要望



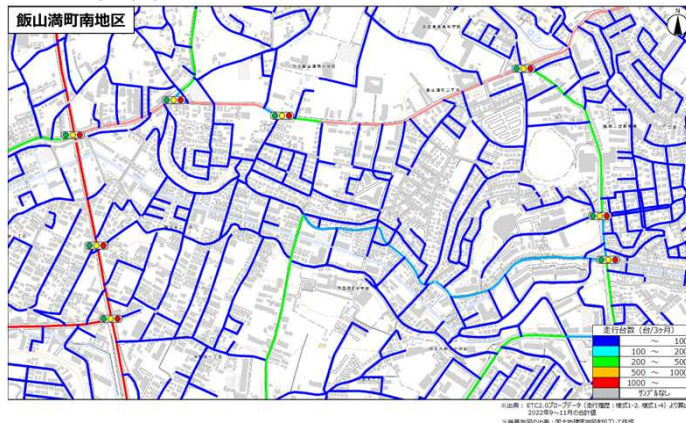
● 急減速発生状況



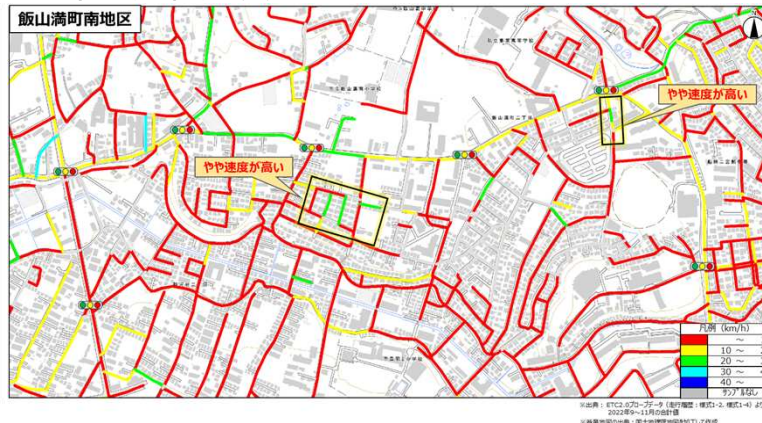
● 事故発生状況



● 走行台数



● 平均走行速度

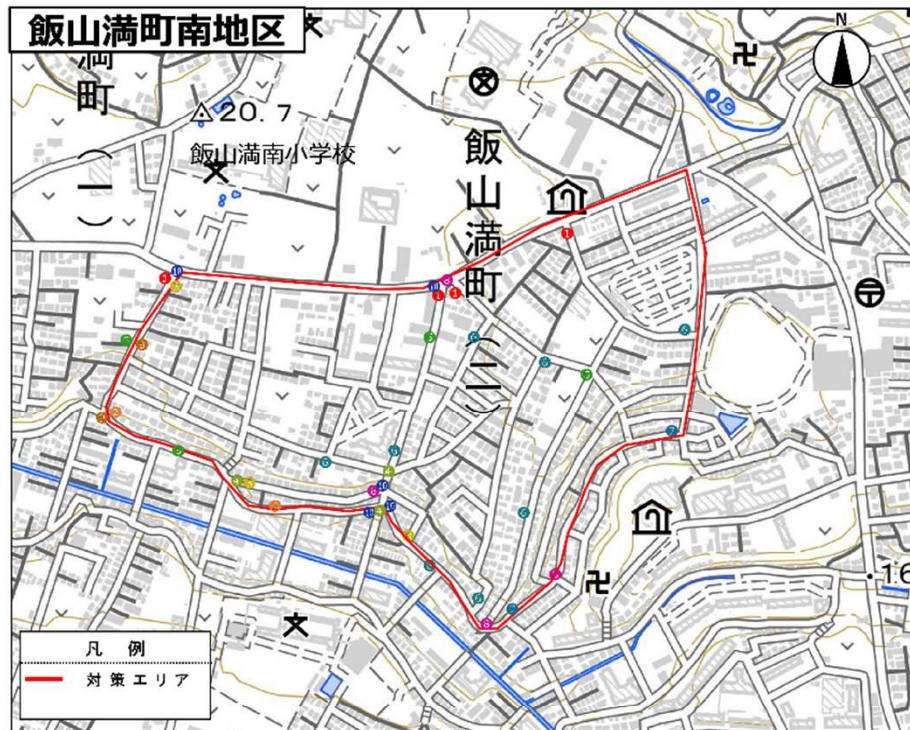


● 30k/h以上の走行車両の割合



4. 飯山満町南地区の検討結果 (4) 対策の実施状況

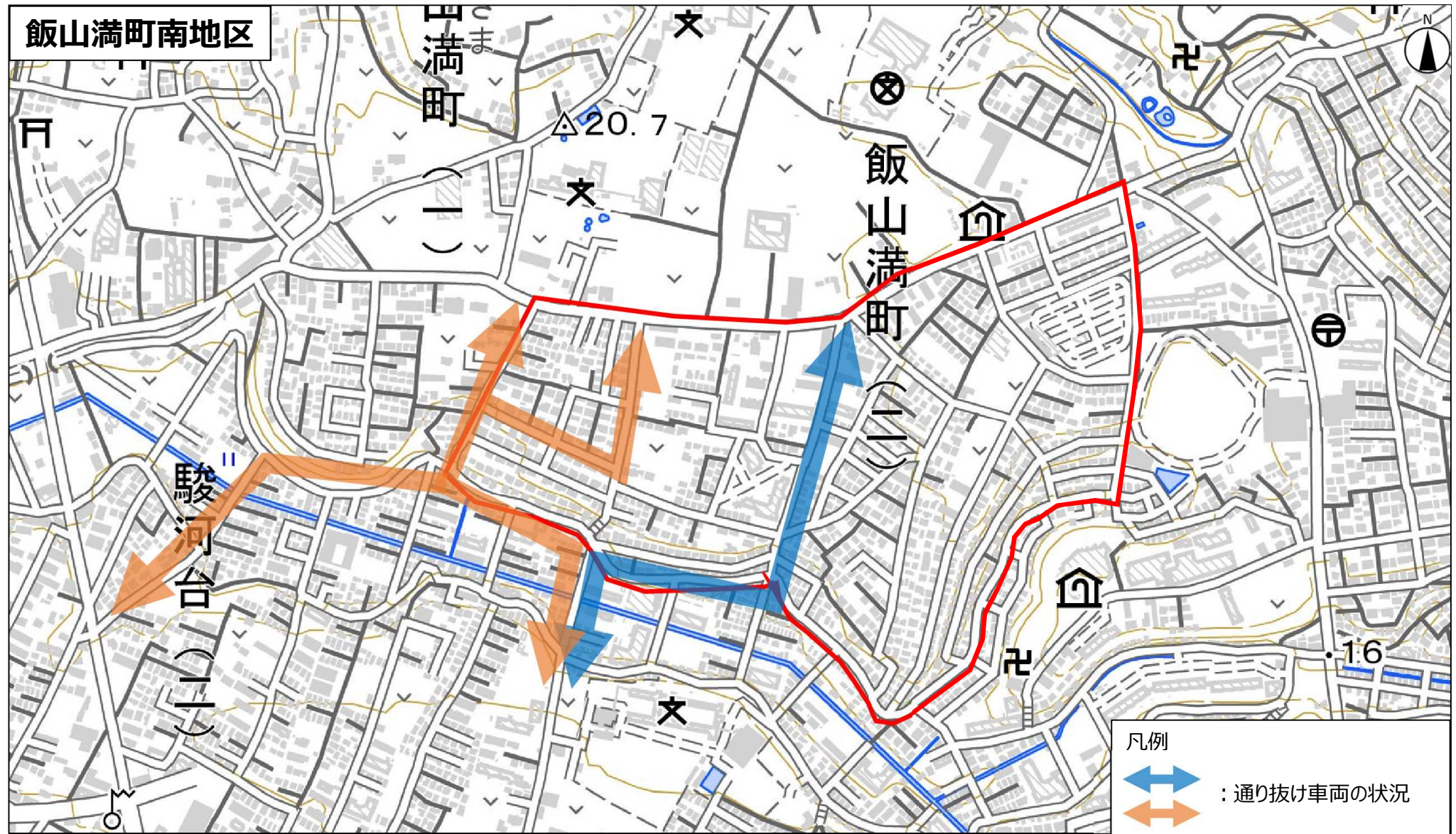
- 飯山満南地区は住宅地であり、エリア周辺には小学校が立地し、学校指定の通学路がある。



4. 飯山満町南地区の検討結果

(5) 通り抜けの状況

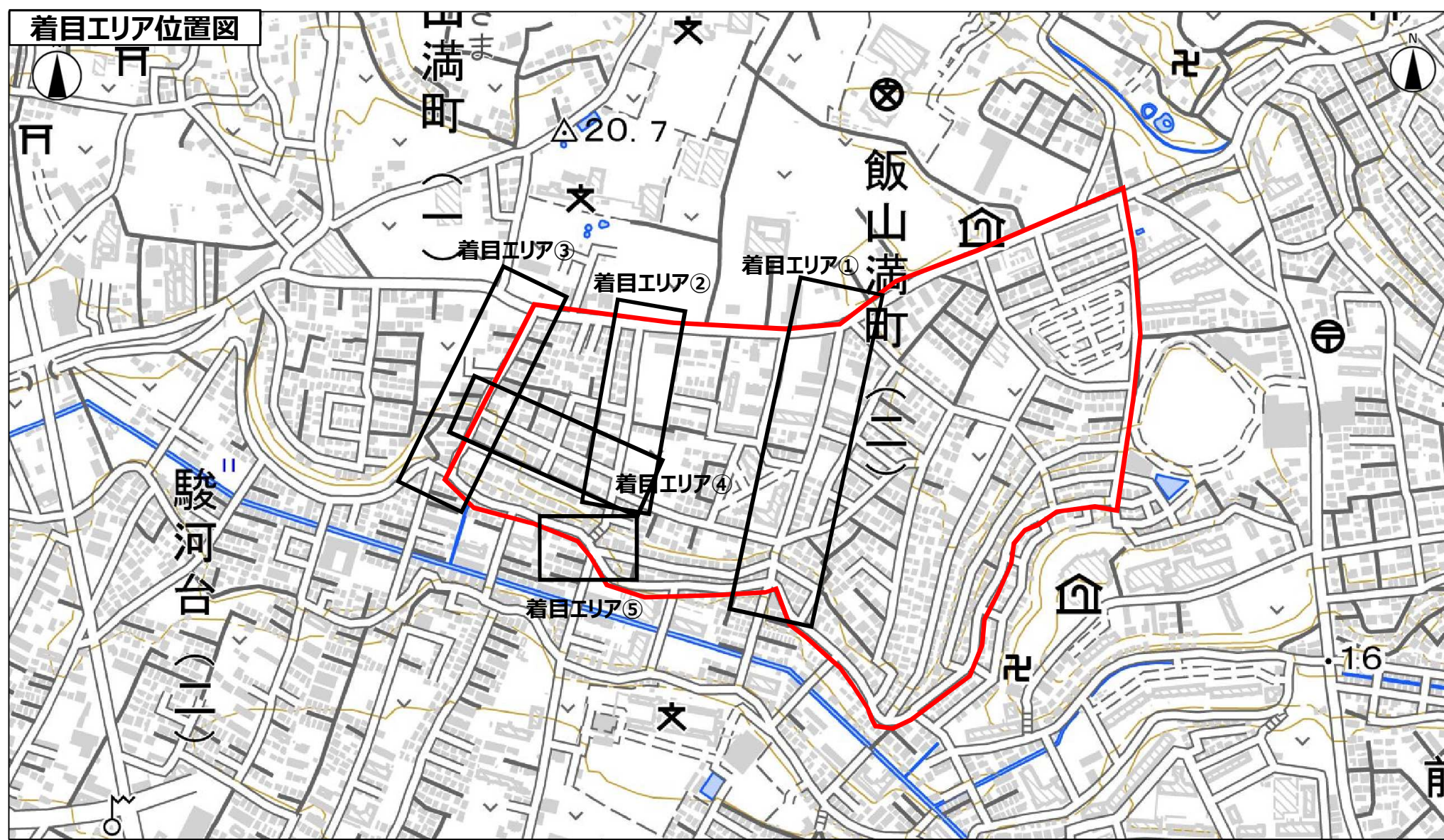
- 外周道路の渋滞を避けるためエリア内を通り抜けする車両が多く存在する。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 飯山満町南地区の検討結果

(6) 着目エリア



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 飯山満町南地区の検討結果

(7) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該エリアの課題

- 外周道路としての役割を担う県道8号（船橋我孫子線）、市道において、常時激しい渋滞が発生。その渋滞を避けるために、エリア内を抜け道利用している車が多く、事故や急減速が多発。
- エリア周辺には小学校があり、自転車歩行者の利用も多く、交通安全に対するニーズが強いため、対策要望が多く寄せられている。
- 小学校の登下校時には通学路上の危険箇所において、地域ボランティアによるスクールガードが立哨しているなど、地域住民が交通安全に対して協力的な地域である。



対応方針

① 外周道路（幹線道路）

※通過交通を通行させるための地域の主要骨格道路

：速度低下区間における渋滞対策の推進。

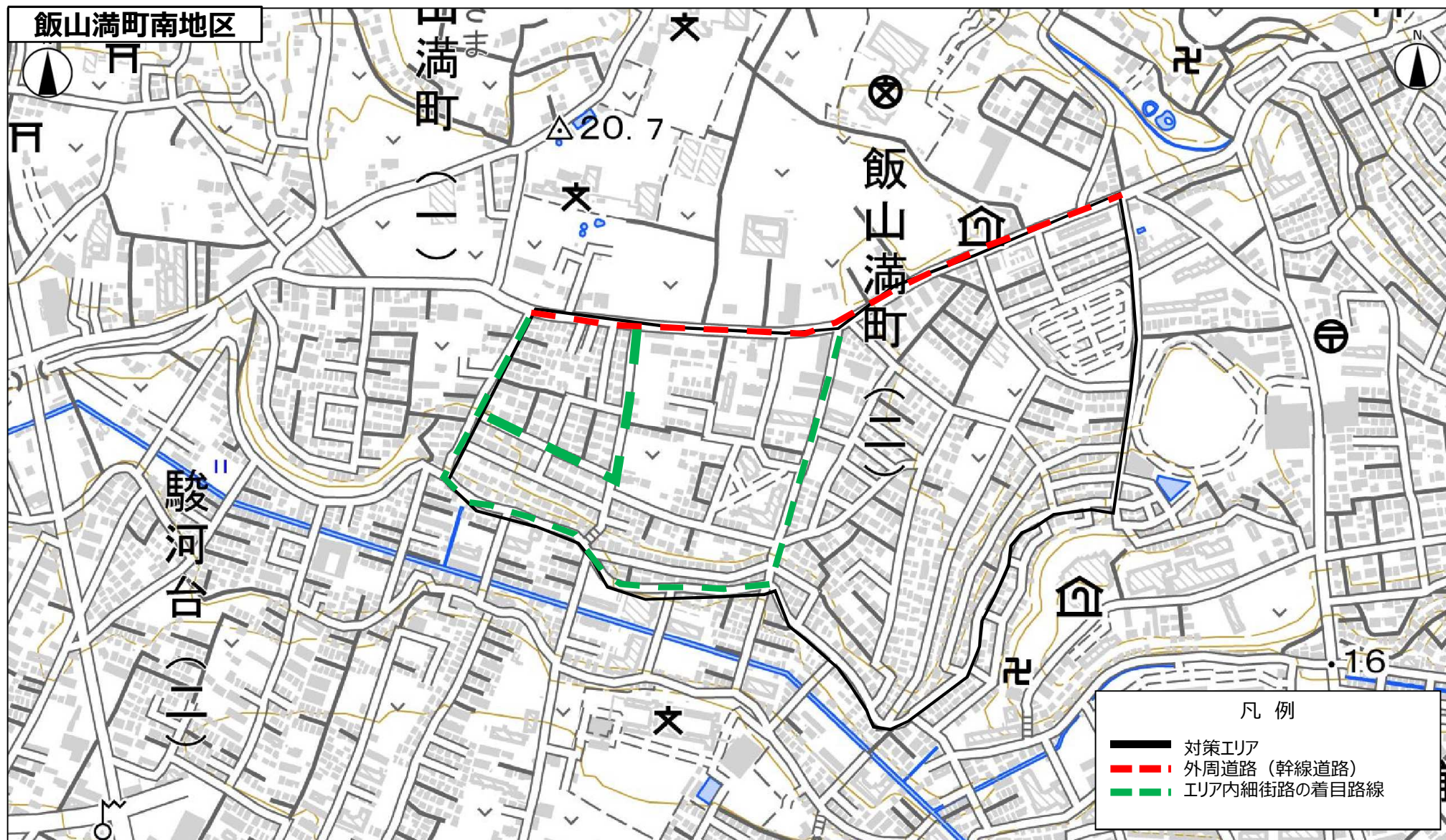
② エリア内の細街路（区画街路）

※沿道住民の利用する道路（通過交通抑制道路）
自転車歩行者を優先させる道路

：抜け道利用の多い区間を対象としたエリア内の進入抑制や速度抑止や注意喚起に向けた対策の推進。

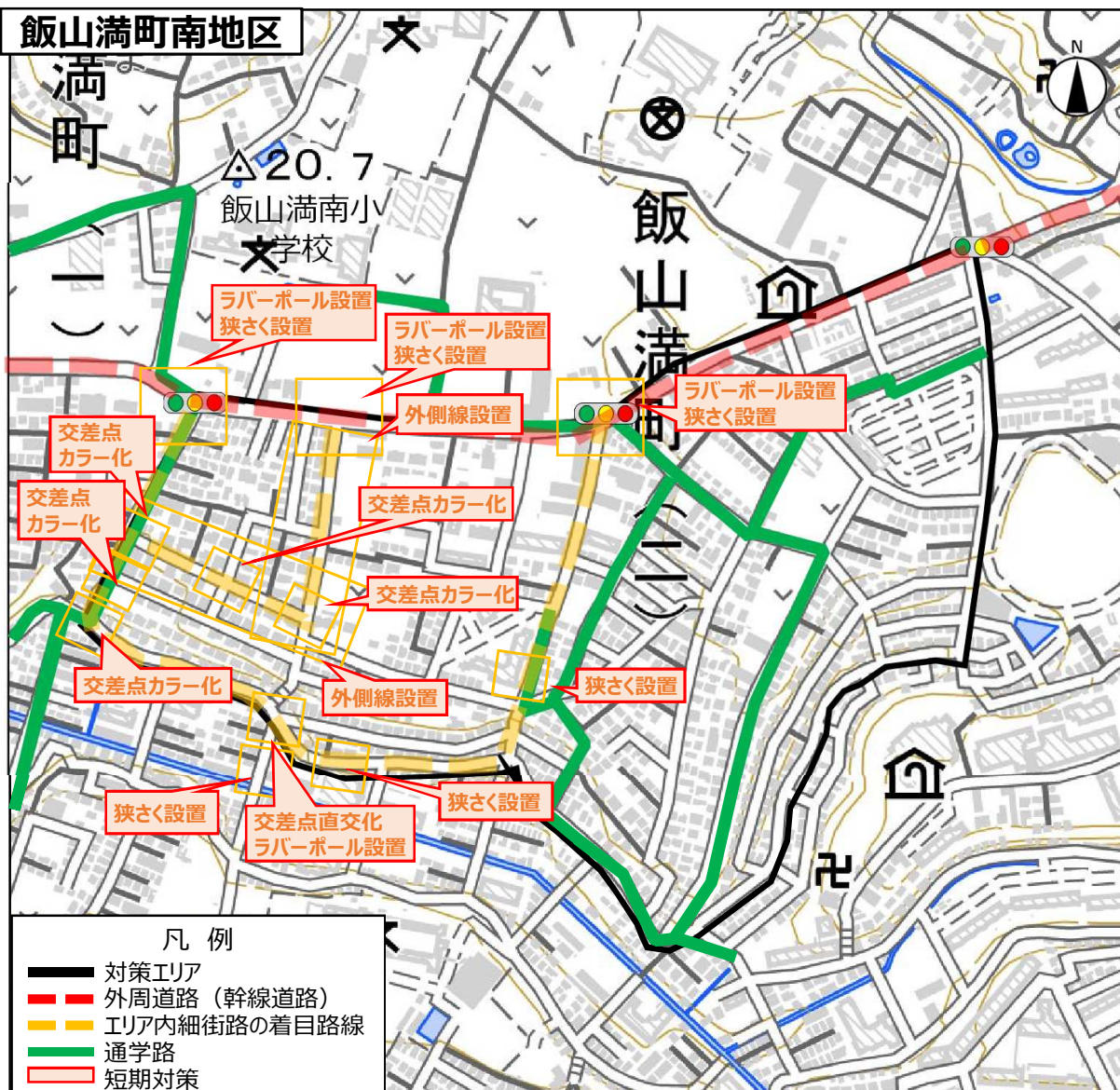
分類	主な対策メニュー（案）
外周道路 （幹線道路）	■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進（新規事業化に向けた検討あるいは要望の継続）
エリア内の細街路 （区画街路）	■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等）

4. 飯山満町南地区の検討結果 (8) 対策のコンセプト



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 飯山満町南地区の検討結果 (9) 対策内容



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

【対策メニュー（案）】

分類	対策内容（案）
外周道路 (幹線道路)	■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進
エリア内の その他の生活道路 (区画街路)	■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等） ■ 地域住民との連携（スクールガードの継続 等）
エリア進入部	■ 「ゾーン30プラス」の路面標示と標識の設置



■ 本日の意見を踏まえて対策メニューの見直し

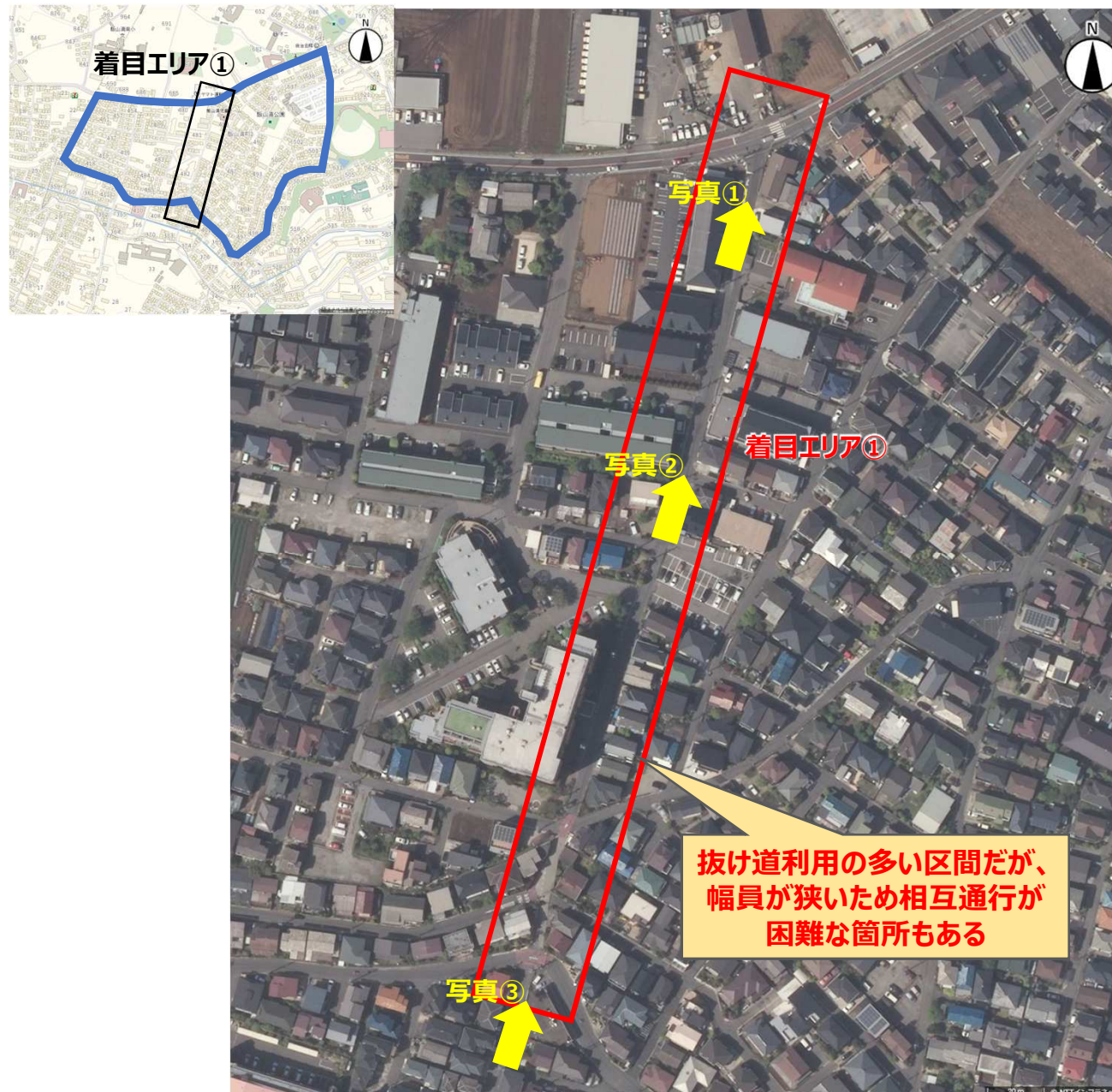


■ 対策の具体化に向けた検討
⇒ 現地状況を踏まえた対策設計・関係機関との調整



■ 地域との合意形成（住民説明会など）
⇒ 合意形成の図られた対策を実施

4. 飯山満町南地区の検討結果 (10) 着目エリア①の現地状況



4. 飯山満町南地区の検討結果

(11) 着目エリア①の対策方針・対策案

- 【着目エリア①（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



短期対策



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
 ※入口部の狭さくについては、双方方向通行の道路であるため、交差点から10～30m離して設置
 参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」

4. 飯山満町南地区の検討結果 (12) 着目エリア②の現地状況



4. 飯山満町南地区の検討結果 (13) 着目エリア②の対策方針・対策案

- 【着目エリア②（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起

短期対策



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討
※入口部の狭さくについては、双方通行の道路であるため、交差点から10～30m離して設置
参考：一般社団法人 交通工学研究会「生活道路のゾーン対策マニュアル」

4. 飯山満町南地区の検討結果 (14) 着目エリア③の現地状況

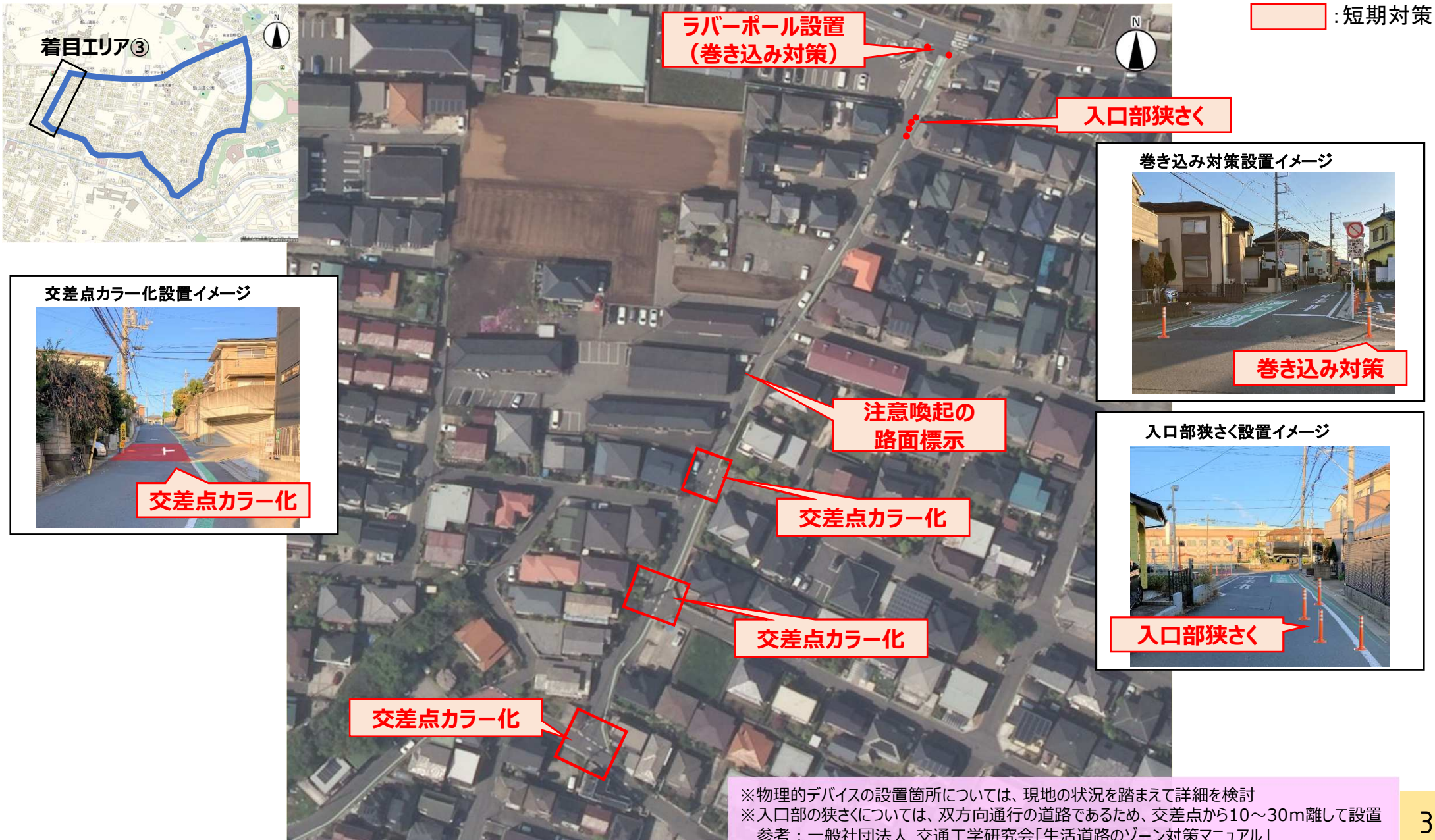


抜け道利用の多い区間だが、
幅員が狭いため相互通行が
困難な箇所もある

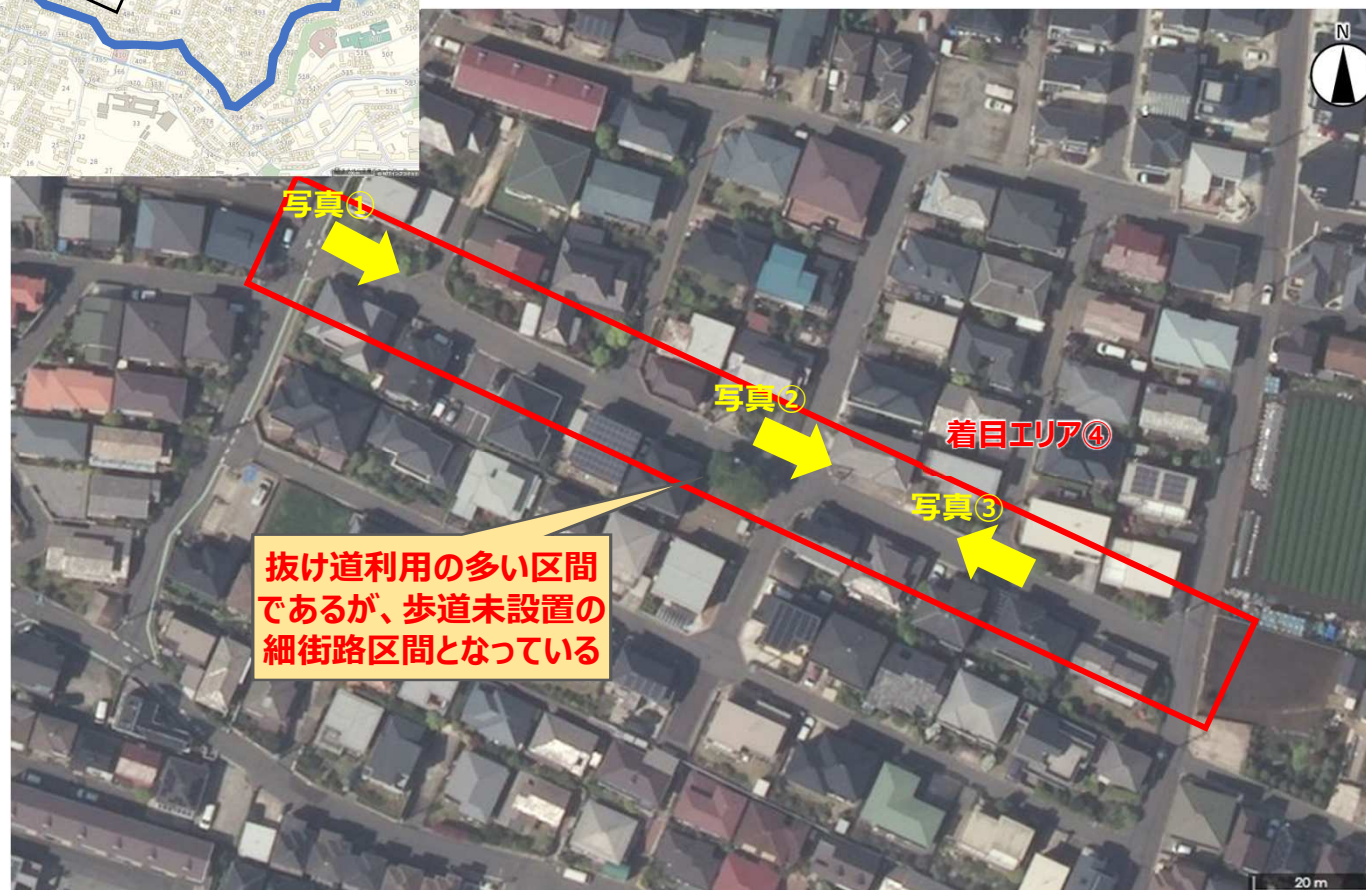


4. 飯山満町南地区の検討結果 (15) 着目エリア③の対策方針・対策案

- 【着目エリア③（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



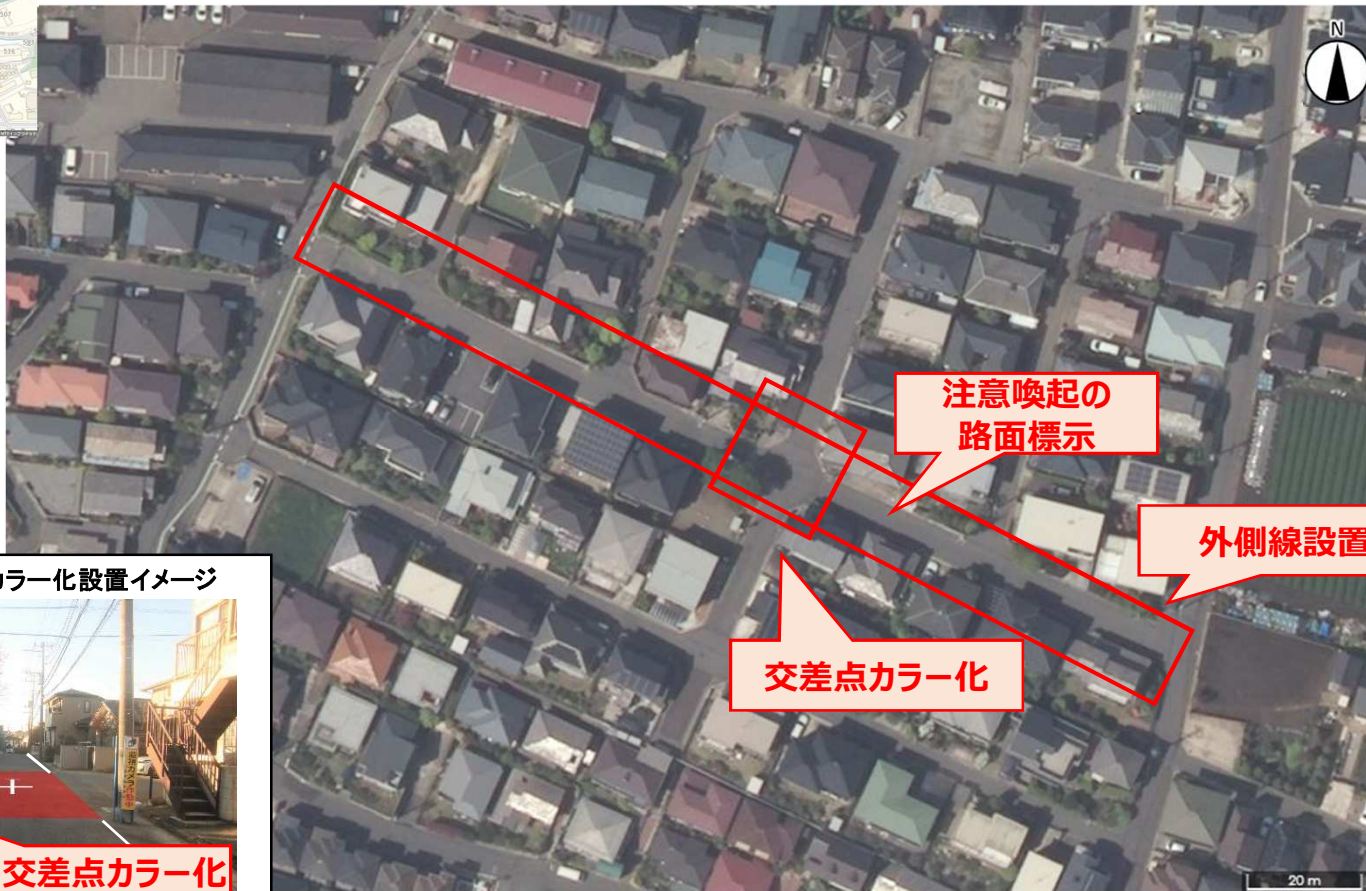
4. 飯山満町南地区の検討結果 (16) 着目エリア④の現地状況



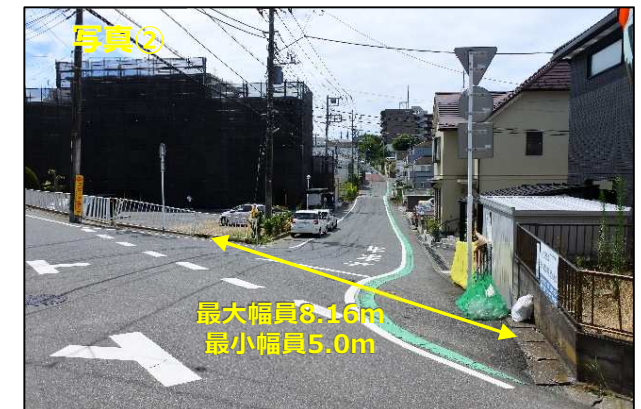
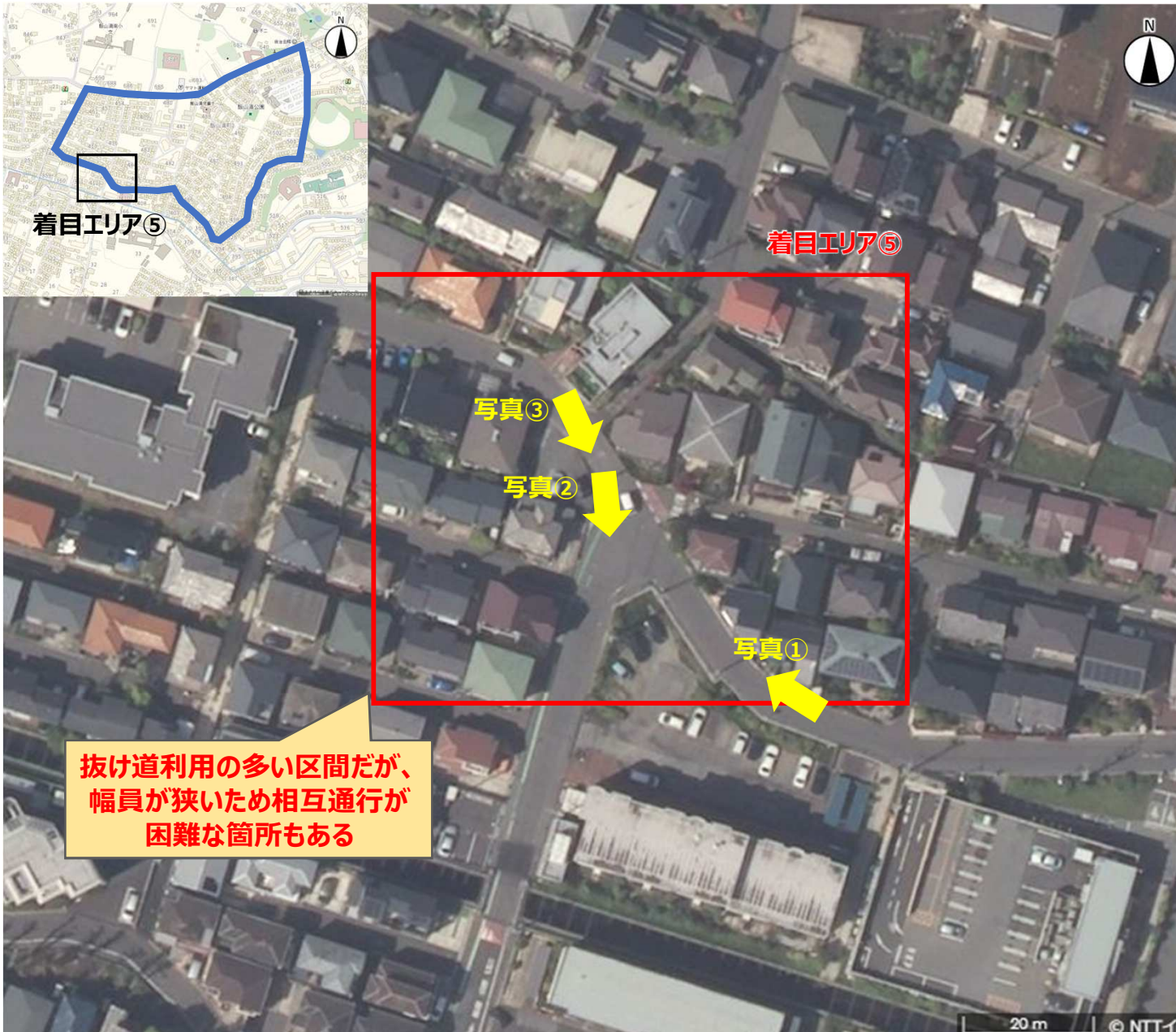
4. 飯山満町南地区の検討結果 (17) 着目エリア④の対策方針・対策案

- 【着目エリア④（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起

: 短期対策



4. 飯山満町南地区の検討結果 (18) 着目エリア⑤の現地状況



4. 飯山満町南地区の検討結果 (19) 着目エリア⑤の対策方針・対策案

- 【着目エリア⑤（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



：短期対策

狭さく設置イメージ



狭さく設置イメージ



※物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討